

# 九頭井太夫 矢島家寄託資料について

柳 川 英 司\*\*

## 1 寄託の経過

平成6年(1994)年に、茅野市ちの上原の矢島ちふり氏から、同家で所蔵している武田信玄朱印状等7件156点が八ヶ岳総合博物館に寄託され、同館に収蔵するとともに、常設展に展示も行っている。

また、平成23年(2011)に、茅野市ちの上原の矢島邦信氏、大戸ゆきえ氏から、同家に所蔵する古文書等を寄託したとの申し出があり、八ヶ岳総合博物館で受託し、平成26年度に、企画展「九頭井大夫家文書」の世界を開催した。

九頭井(葛井)太夫矢島家は、茅野市ちの上原に所在する葛井(九頭井)神社の神主を江戸時代まで勤めていた家であり、葛井神社や、神職に関わる古文書を多く所蔵している。特に、2通の武田信玄朱印状は、茅野市指定文化財に指定されており、重要である。

## 2 九頭井太夫矢島家について

前述の通り、九頭井太夫矢島家は、葛井神社の神官を勤めていた家である。矢島家の家系図によると、先祖は槻泉之神の子孫であるという。系図は、戦国時代の信盛から始まっている。

系図によると、以下の通りである。

信盛—信—信孝—信忠—邦信—信道—信国—貞道—信貞—信正—(四代不明)—義信—信孝—信任—信方—信吉—貞信—信胤—信明—信政—信清—信房—信智—茂登—茂—斎—邦信

1・2(目録番号、以下、同じ)の「新兵衛尉」について、系図上該当する名前の人物が比定できないが、死没年から考えて、信国か貞国ではないかと考えられる。

信正から義信にかけて4代不明であり、信正が寛永元年(1624)に死去し、義信は元禄十四年(1688)に死去している。矢島家で近世文書の最古のものは、正徳5年(1722)からで、信孝か信任の代だと思われるが、江戸初期のものが全く見られない。4代不明であることが関係していると考えられ、この間に葛井大夫家が断絶していた可能性がある。

諏訪神社の神官の宗門人別は、基本的には寺の人別帳に記載される。九頭井太夫家矢島家は頼岳寺の檀家であるので、宗門一札や請状は頼岳寺との関係で出されている。

## 3 九頭井太夫矢島家文書

分類は、中世・近世・近代にまず分類し、九頭井太夫家に特有の宗教具を別に項目を設けた。また、文芸は、時代が不明なものが多いため、これも項目を設けた。近世・近代は、文書の内容により、さらに分類したが、九頭井太夫矢島家文書の内容に則して分類しているために、八ヶ岳総合博物館内で統一された分類ではない。

本目録には目録番号と史料番号を付与したが、史料番号は、実際に収蔵史料に付けた番号である。

九頭井太夫家文書の時代・内容による内訳は、中世8点、近世198件221点、近代153件211点、宗教具56点、文芸288点、その他71点である。

### (1) 中世文書

中世文書は、8点であるが、うち2点が原文書であり、他は写しである。永禄2年(1559)3月28日付武田信玄判物は、原本がなく写しである。もともと矢島家には3点の中世文書があったようである。写は、3点の中世文書の写で、2点ずつ写しが存在する。現存する2点の中世文書は、いずれも茅野市指定文化財に指定されている。

---

\* 茅野市八ヶ岳総合博物館 学芸員

1・2は、九頭井太夫矢島家文書で最古の年号を持つ文書である。

内容は、葛井神社の祭礼が、100年以來断絶しており、この神事を復興するために、栗林郷の田地6反を、武田信玄から寄進するというものである。葛井神社の神事が100年以上断絶していたことがわかる史料である。本文序は、信玄が袖に花押を記している。

宛名が九頭井太夫ではなく、「祢宜 新兵衛尉」である。「万代家職覚帳」の系図などには(189)、没年から該当する人物として、「信道」であると考えられる(永禄4年5月1日没)。

5の釈文は、次の通りである。

これは、「葛井社の瑞籬・鳥居は、諏訪郡上原南北田役により7年に1度に造立

追而、縦雖帶諸役御免之先御判、於于神役者可相勤者也、九頭井社瑞籬・鳥居、以諏方郡上原南北之田役、七箇年一度造立之由、被載神前之本帳之上者、不足論、自今以後守旧規可相勉、若地下人等至令怠慢者、可有御過怠之旨、被仰出者也、仍如件、  
永禄九年<sup>丙寅</sup> 吉田左近助 奉之  
閏八月廿五日(朱印) 九頭井之大夫との



5 永禄9年(1566)閏8月25日 武田家朱印状 (茅野市指定文化財)

ついで、神前の本帳に掲載されているので、不足がある場合は協議して、今後以前のように勤めよ。もし、地下人などが怠慢であった場合は、過失があったことを報告せよ。追って、たとえ先の諸役免許の御判があったとしても、神役は勤めなければならない」という内容だろうか。

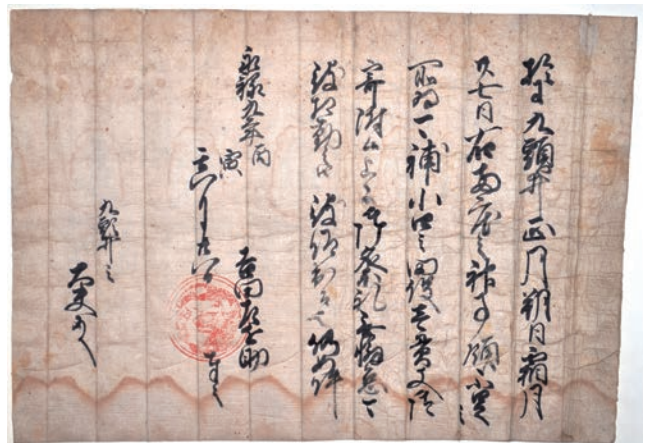
本史料の内容は、「諏方上下社祭祀再興之次第」(諏訪上社文書 以下、「信玄十一軸」)に同様の内容がある。「信玄十一軸」は、武田信玄が諏訪上下社の神官の要望を容れて作成された神事などの台帳であるが、該当する記事は、永禄9年9月3日に上社大祝と五官祝宛に出されたものとされたものであり、「信玄十一軸」に先行する状況で作成されたと考えられる。

同日に発給された文書が、諏訪市小和田の八剣神社に伝来しており(信濃史料 13-40~41)、内容も八剣神社の造宮に関してのもので、「信玄十一軸」にも、同じ巻に記されている。「信玄十一軸」の永禄9年9月3日付の巻に記載されている諸神社は、おそらく同日付の造宮に関する文書が発給されていたと考えられる。

同日付の文書に、金子文書がある(信濃史料 第13巻40頁)。これは、「御射山祭の時の大祝の宿所は、宛名の6ヶ郷が造営せよ」という文書である。6ヶ郷とは、中村・村岡・長田・原・木之間・湯川である。本史料の発給者は、吉田信生ではなく、土屋右門と穴山梅雪である。

なお、本史料と八剣神社文書は、奉者である吉田左近助(信生 生没年未詳)の諏訪においての初見文書である。吉田信生は、本文書の少し前に諏訪郡代に就任したと思われ、諏訪郡代として諏訪上下社等の復興に勤めたようで、次に記述する8の文書も、諏訪郡代として作成した

於于九頭井、正月朔日・霜月廿七日、右兩度之神事領不足之所、為可補小口之田役老貫文之御寄附候上者、祭礼無懈怠可被相勤之由、被仰出者也、仍如件、  
永禄九年<sup>丙寅</sup> 吉田左近助 奉之  
壬八月廿八日(朱印) 九頭井之大夫殿



8 永禄9年(1566)閏8月28日 武田家朱印状 (茅野市指定文化財 8)



ものと思われる。

これは、「九頭井神社の正月一日と霜月 27 日の神事領が不足しているので、小口の田役一貫文を武田家より寄付する」という内容である。正月一日神事は、諏訪上社の特殊神事である葛井池神事である。霜月 27 日の神事は、「信玄十一軸」に記載されている神事であるが、この神事については、本文書と「信玄十一軸」以前には見られない神事である。文中の「小口」は、岡谷市幸町付近であろうか。

「信玄十一軸」では、永禄 8 年 12 月 5 日付に発給された巻にあるため、本文書に先行する形で、「十一軸」に記載され、実際に文書が出されたのは、翌年の閏 8 月 28 日になったようである。

なお、同日付の文書は他にもあり、船渡湛神事領に関するもの（諏方文書 信史 13-44 ~ 45）、御室御祭領に関するもの（「三輪文書」信濃史料 第 13 卷 45 頁）があり、いずれも吉田信生が奉者となっている。

以上 3 点の文書は、九頭井神社の神事領の復興や造営料に関わる史料である。

## (2) 近世文書

明治 5 年(1872)に神職の世襲が廃止されたため、明治 5 年まで近世とした。近世文書は 198 件 218 点で、年代のわかるものは 151 点である。近世文書の最古のものは、宝永 8 年 (1711) (207) の文書であるが、これは美濃国本高ヶ沢・稗畑山の訴訟に関するもので、何らかの参考にするために、後世に写されたと考えられる。

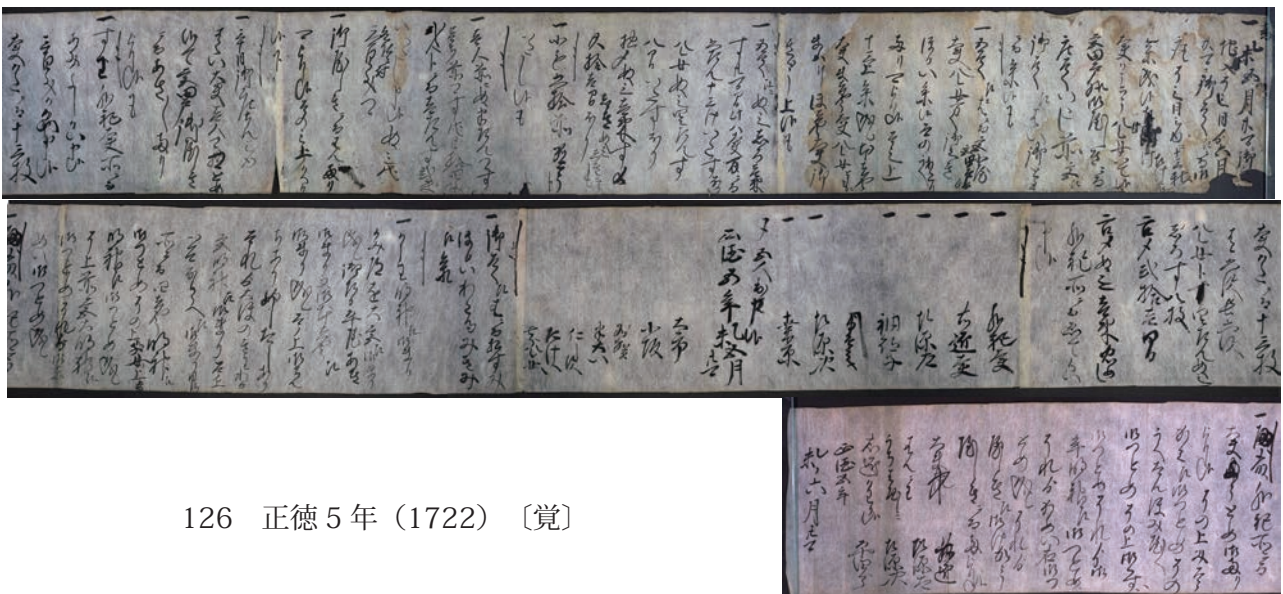
文書の内容を見ると、宗教関係が 94 点と最も多い。内容は、ほとんど神社や神職に関するものである。以下、主要な文書群について述べる。

### 1) 宗教に関する史料

九頭井太夫矢島家に直接関係のある最古の文書は、正徳 5 年 (1722) の覚 (126) である。本史料は、九頭井太夫の上社神楽役に関連する史料である。内容は、大祝の職位式の状況について記されているものである。神事に関する文書には、上社の太々神楽 (131・132・133・138) や、維新時に発給された文書がある (200)。

神社と分類したものには、九頭井大夫家が管轄する葛井神社、上原千鹿頭社・埴原田千鹿頭社・御社宮司社・塚原鎮守社に関するものも含まれる (197・198)。

神職と分類したものは、九頭井太夫の身分などに関するものである。最も多いのは、九頭井大夫家や、同じ神楽役の家の系図類 (119 ~ 125・167 ~ 169) が多い。他に吉田家からの神道免許に関するものである (127・147 ~ 153・156・159)。風折烏帽子 (409) も、関連する史料であろう。



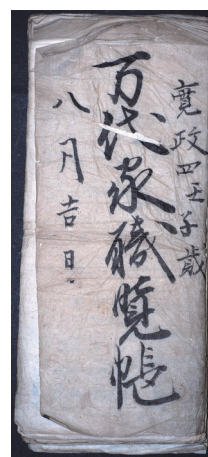
126 正徳 5 年 (1722) [覚]

神職の中に含めたが。「万代家職覚帳」(189)は、表紙に寛政4年(1793)の年号が書かれているが、嘉永8年(1855)までの記録があることから、実際にこの史料が作られたのは、嘉永8年頃であると考えられる。本記録は、寛政4年以降の九頭井太夫が関わった神事・神社に関する記録であり、最重要史料である。

また、宗教関係で多くの比率を占める文書に、神楽役間で起こった争いに関する訴訟がある(170～184)。そのほとんどは、外記太夫家との給分や管轄する神社に関する訴訟が多い。

## 2) 戸口に関する史料

戸口に関する史料は、九頭井太夫矢島家に関する史料が多いが、何故か籬(真柿)太夫増澤家のものが若干含まれる(37・38)。九頭井太夫矢島家の文書にある理由は不明であるが、親戚関係だった可能性が考えられる。籬太夫増澤家との史料は、商業の項目などにも見られる(82・87・97～99)。



189 寛政4年  
(1793)  
万代家職覚帳

宗門以外は、明治5年の改名に関するものがあり、通称から実名に変更する関係の史料が見られる。

## 3) 記録類

神事に関わる記録以外では、幕末維新に関わる史料が16点と多い。特に、「年代旧記諸雑録」(114)や「慶応四戊辰二月日官軍徳川せいばつ并諸国鎮撫御勅使附御警衛大名衆御人数并奥州會津之仕末分日々聞書雑録 庭敵大名會酒井上秋仙台右二候・水戸屯集浪士和田峠之一戦之扣」(113)は、当時、九頭井太夫だった矢島信智が実際に見聞したことや、噂話などを書き留めたもので、同時代史料として、興味深い史料である。

## (3) 近代文書

近代文書は211点であるが、10点は、プライバシーに関わる史料なので、非公開とした。

### 1) 政治・行政

本項目としたものに、知行関係、戸口、土木・水利、戦争・兵事がある。

知行関係は、旧禄取調(227～233)に関する史料が主である。戦争・兵事は、日清・日露戦争への軍資金寄付に関わる感謝状や領収証である(271～273)。

土木・水利は、小江川は、葛井池に直結している用水で、満水の時には砂利で葛井池が埋没してしまうために、古川へ通すようにという願書(264)や、水害により土手が崩れたために、土手を改修するための史料(263・268・269)、古川堤防工事に関する史料(265・270)がある。

### 2) 経済・産業

経済産業に関する史料には、製糸業、運輸・通信、無尽に関する史料がある。

製糸業は1点だけであるが(276)、明治7年(1874)に諏訪郡生糸製造人惣代と生糸改会社が定めた雇用に関する取り決めである。明治7年という比較的早い段階で、労働条件についての取り決めがされていることが、興味深い史料である。

運輸・通信も1点だけであるが(302)、明治38年(1905)に、中央線ちの停車場(現茅野駅)通路開削費に1円、矢島茂登が寄付したことに対する領収書である。明治36年(1903)に中央東線が開通し、駅の周辺整備がその後行われたことを示す史料である。

### 3) 社会・労働

社会労働に関する史料は、救恤に関する史料が主である。

水害にや凶作への寄付に対する感謝状である。特に明治41年(1908)の感謝状(306)は、明治38年の岩手県の凶作に対するもので、広範囲にわたって、寄付金が集められていたことがわかる。

#### 4) 教育・文化

矢島信智が、上原学校の設立に関係したようで、学校関係は上原学校に関連したものが多い。横内村・上原村生徒人員録（311～314）、上原学校の地所に関するもの（315・316）、上原学校の校舎平面図（317）がある。

#### 5) 宗教

宗教は、九頭井神社に関する史料がほとんどである。

明治時代は神社制度変革によるものが多い。新政府からの布告の写や九頭井太夫や所管する神社に関する調書などが見られる。

矢島家は、明治6年（1873）に神社制度が変わったため、九頭井太夫が廃止され、神職ではなくなったと思われるが、明治33年（1900）に矢島信智が葛井社（332）・千鹿頭社（333）・八幡宮（334）の社掌の辞令を受け、その後、明治35年に祭式講習を受講しており（324～326）、この頃に九頭井神社に関係していたが、矢島信智は明治39年に没しているため（392）、この時に九頭井神社との関係は途切れたようである。

その後、矢島信智の孫である矢島茂が、大正9年（1920）に九頭井神社の社掌となったとみられる（337～342）。矢島茂が、いつまで九頭井神社の社掌を務めていたかは不明であるが、昭和11年（1936）に没しているため、この頃までには矢島家と九頭井神社の直接のつながりはなくなった可能性がある。

#### 6) 家

矢島家の個人や系図に関することは家とした。ほとんど、矢島信智の子である矢島<sup>もと</sup>茂登に関するものが多い。それは、矢島茂登が医師であったため、長野県医学校に関するもの（365～372）や、北安曇郡医（376・377）・諏訪郡医（379）・永明尋常小学校医の辞令（380）などがある。

#### （4）宗教具類

宗教に関する道具類が53点と多くあるため、別に項目を立てた。そのうち約半数の28点が御札に関するものである。御札で年代のわかるものがほとんどないが、おそらく近世のものが大半であると思われる。年号のわかるものは1点のみであり、嘉永元年4月（1848）の「諏方宮御祈禱御稜札」（410）である。この御札は、「矢嶋甲斐」とあるところから、九頭井太夫家で発行されたものである。「諏方宮」とあっても、それぞれの神職が御札を発行していたことがわかる。

御札の中には、鹿食免が4点ある（420）。また、版木も伝えられている（411）。鹿食免は、他に権祝矢島家に、版木は、大祝諏訪家・神長官守矢家に伝えられており、「諏方宮御祈禱御稜札」と同様に、鹿食免はそれぞれの神職から発行されていたようだ。鹿食免の版木は、裏面に「上社御祈禱御守護」とある。また、他に片面に「諏方本宮 一千度御稜大麻」、もう片面に「諏方上社五穀成就御守」の版木がもう一枚ある（412）。

「切札」としたものが8点あるが、何らかの儀式に使用したものだろうか。417の袋に入っているものは、風水に関するもの（426・427）、棟上式の供物を書き留めたもの（428）があるので、何かの棟上式に使用された切紙だと考えられる。可能性としては、天保8年（1837）に九頭井神社の宝前（神殿か）の建て替えの時のものか（189）。

太鼓が1点所蔵されているが（415）、胴部に諏訪上社の神紋が描かれているので、九頭井太夫が、上社の神楽役を務めていたときのものか。



456 大日如来座像（左）  
457 地藏菩薩座像



仏具としたものの中に、仏像が3体ある。そのうち2体の大日如来座像(456)と地藏菩薩座像(457)は、九頭井神社にあったものと伝えられ、廃仏毀釈の時に除仏されたものだろう。しかし、九頭井神社の本地仏は薬師如来であるので、本尊に薬師如来像があったはずであるが、こちらは伝わっていない。

#### (5) 文芸関係

書画や和歌・俳句、刊行物等を文芸関係とした。文芸関係で多いのは、絵画41点・俳句25点・和歌24点である。

1) 絵画 文芸関係で最も多いのは絵画である。肉筆のものや印刷したものなどがある。肉筆の絵画では、作成者が不明なものが多い。その中で、諏訪地域の人物が作成したことが判明するものに、岩波其残(1815-1894)が描いた俳画(555)や小平雪人(1872-1958)が描いた達磨図(581)がある

2) 俳句 俳句では、年号がわかるものはほとんどないが、年号のわかるもので古いものは、安政5年(1858)のものである(480)。包紙上書に「句種井 信州 月廼屋江湖」とあり、「句種井」は「九頭井」の当て字と考えられるところから、「月廼屋江湖」は矢島家の人物だと考えられる。年代から考えて、信房(明治15年(1882)74才没)か信智(明治39年(1906)78才没)であると考えられる。

「発句雑誌」(479)・「歌俳句雑誌集」(482)には「矢島閑柳」「矢島閑柳」とあり、この「矢島閑柳」は、年代から見て、矢島信智の可能性が高い。このことから、504・506・508の俳句と、「発句雑誌」(478)、490の和歌は、矢島信智が詠んだものと思われる。

500の俳句は、包紙上書に「捧吟 壱章 松濤會員 竹田璽 病床中」とあり、また、短冊に「凍湖」とあるので、高島城の撮影で著名な竹田凍湖のことであると考えられる。

#### 3) 和歌

和歌は、俳句で述べた矢島閑柳の他に(490)、矢島信智が本名で書いた403・404がある。他に、「発句雑誌」(479)・「歌俳句雑誌集」(482)・「発句雑誌」(478)といった、同人が詠んだ俳句集などがある。

作成者不明の短冊が多いが、小平雪人が詠んだ485がある。

#### 4) その他

上記の物の他に、漢詩9点・書9点あるが、作成者が判明するものはほとんどない。

他には地図が12点と多いが、583・584・588～590・592・593・595は江戸時代の地図と考えられる。583は宝暦10年(1760)に改訂がされたものである。江戸・大坂(大阪)の地図なので、職務上や旅で購入したものだろうか。

#### (6) その他

その他としたものは、衣類や什器類である。

羽織(597)は内側に「庄九郎」と墨書がある。「庄九郎」とは、右近太夫矢崎清時か清政のことである。清時は安永頃(1772-1780)の人物であり、清政は天保頃(1830-1844)の人物である(122-124・361)。361では、清時の仮名が「権之進」とあるので、ここでの「庄九郎」は清政の可能性が高い。

右近太夫矢崎家のものが矢島家に伝えられているのは、幕末から明治にかけての矢崎家の当主が、矢島信智の弟である光忠であったからだと考えられる。

他に胸当てが1点あり(598)、胸の部分に「六文銭」の刺繍がある。矢島家の家紋が「六文銭」であることから、矢島家で伝承していたものようである。

陣笠は2点ある。1点は矢島家の家紋が描かれているが(599)、もう1点の家紋は不明である(600)。

馬具である泥障(601)が1点あるが、伝承については不明である。

武具は、刀1振(605)、鑓1本(602・603)、火縄銃がある(604)。刀・鑓とも無銘であるので、製作者・

年代とも不明である。火縄銃は「江州国友住才次能當」とあり、鉄砲鍛冶で有名な現在の滋賀県長浜市国友町に居住していた人物の製作によるものである。この人物については、不明である。

茶壺が1点所蔵されている(606)。この茶壺は、瀬戸窯で焼かれたもので、16世紀後半のものと考えられる。

その他のものとして、石器がある(607~611)。石器の内容は、石匙3点・石鏃37点・石鏃の未製品と思われるもの7点・石錐3点・太形蛤刃石斧2である。石鏃には縄文時代早期のと思われるものと、縄文時代晩期の有茎石鏃が見られる。石匙は2点が頁岩が素材であり、1点は黒曜石が素材である。太形蛤刃石斧2点は、弥生時代である。

これらの石器は、矢島信孝が、矢島家の前の畑で採取したものらしい。縄文時代から弥生時代の遺跡が、矢島家付近にあることを物語る遺物である。

まとめ

矢島家文書は、中世・近世を通じて、九頭井太夫・諏訪上社の神楽役という「職」に関する史料が中心であり、諏訪上社の神官の動向についてわかる貴重な史料である。諏訪上社に関連する古文書群では、大祝諏方家文書・神長官守矢家文書・権祝矢島家文書・擬祝伊藤家文書が伝えられているが、その他の神職が所持している古文書群は、明らかではなかった。今回、矢島家から寄託されたことにより、より、中世・近世の諏訪上社や、九頭井太夫について明らかになるのではないかと、期待される。

#### 《参考文献》

信濃史料刊行会 1958『信濃史料 第十二巻』

信濃史料刊行会 1959『信濃史料 第十三巻』

信濃史料刊行会 1971『新編信濃史料叢書 第三巻』 「諏方上下社祭祀再興次第」

矢島はつ子編 1981『矢島信孝自叙家集(私家版)』

八ヶ岳岳麓文芸館・茅野市八ヶ岳総合博物館 2008 「八ヶ岳岳麓文芸館特別展 小平雪人 没後50年と諏訪の俳人たち」

八ヶ岳岳麓文芸館・茅野市八ヶ岳総合博物館 2009 「八ヶ岳岳麓文芸館企画展 岩波其残展」

茅野市八ヶ岳総合博物館・茅野市神長官守矢史料館 2014 「茅野市八ヶ岳総合博物館・茅野市神長官守矢史料館企画展 九頭井太夫家文書の世界・守矢文書にみる九頭井神社」

九頭井太夫 矢島家文書目録

1 中世

目録番号	史料番号	文書名	年月日	西暦	月	日	差出人・作成者	受取人	形態	数量	内容	備考
1	359	[武田信玄判物写]	永禄二年己未三月廿八日	1559	3	28	[武田信玄]	祢宜新兵衛尉	豎紙	1	寄進状	428 と同一文書。
2	428	[武田信玄判物写]	永禄二年己未三月廿八日	1559	3	28	[武田信玄]	新兵衛尉	豎紙	1	寄進状	359 と同一文書。
3	436	[武田信玄朱印状写]	永禄九年丙寅閏八月廿五日	1565	8	25	[武田信玄] 奉者 吉田左近助	九頭井之太夫との	豎紙	1		361・市指定文化財と同一文書。
4	361	[武田信玄朱印状写]	永禄九年丙寅閏八月廿五日	1565	8	25	[武田信玄] 奉者 吉田左近助	九頭井之太夫との	豎紙	1		436・市指定文化財と同一文書。
5	H6-02	[武田信玄朱印状写]	永禄九年丙寅閏八月廿五日	1565	8	25	[武田信玄] 奉者 吉田左近助	九頭井之太夫との	豎紙	1		茅野市指定文化財
6	357	[武田信玄朱印状写]	永禄九年丙寅閏八月廿八日	1565	8	28	[武田信玄] 奉者 吉田左近助	九頭井之太夫殿	豎紙	1	寄進状	360 と市指定文化財と同一文書。
7	360	[武田信玄朱印状写]	永禄九年丙寅閏八月廿八日	1565	8	28	[武田信玄] 奉者 吉田左近助	九頭井之太夫殿	豎紙	1	寄進状	357 と市指定文化財と同一文書。
8	H6-01	[武田信玄朱印状写]	永禄九年丙寅閏八月廿八日	1565	8	28	[武田信玄] 奉者 吉田左近助	九頭井之太夫殿	豎紙	1	寄進状	茅野市指定文化財

2 近世

目録番号	史料番号	文書名	年月日	西暦	月	日	差出人・作成者	受取人	形態	数量	内容	備考	分類	
9	111	明治五壬申二月筑摩縣御役附	明治五壬申二月	1872	2				断簡	2	筑摩縣の役人の等級と人名の書上		1	行政
10	333	御詫申一札之事	庚午(明治三年か)三月八日	1870	3	8	本人 留吉 庄右衛門 請人 隣家	御講連中様	豎紙	1	偽りヶ間敷儀につき。	端裏書「庚午九月廿一日 講連 此證文隣家一統二而貰い」。	2	治安
11	82	[寄進状]	享保七壬寅歳二月十七日	1722	2	17	赤井信濃守	願向勸請諏方末社山神九頭井太夫殿	折紙	1	常陸国坂戸村新田高五石を寄進に付。424 と同一。			
12	424	[寄進状]	享保七壬寅歳二月十七日	1722	2	17	赤井信濃守	願向勸請諏方末社山神九頭井太夫殿	折紙	1	常陸国坂戸村新田高五石を寄進に付。	82 と同一文書。		
13	H6-03	[寄進状]	享保七壬寅歳二月十七日	1722	2	17	赤井信濃守	願向勸請諏方末社山神九頭井太夫殿	折紙	1	常陸国坂戸村新田高五石を寄進に付。	82・424 と同一文書。		
14	304	一札	文政六年癸未年十一月	1823	11		上金子村 名主 長右衛門		豎紙	1	九頭井大夫の持高証文。	包紙あり。		
15	292	一札	嘉永元戊申年十一月	1848	11		上金子村 名主 岩右衛門		豎紙	1	九頭井大夫の持高証文。			
16	118	一札	嘉永三庚戌年十一月	1850	11		上金子村 名主 岩右衛門			1	九頭井大夫の持高を、上金子村名主が保証している			
17	9	金澤町口重廊跡口末方扣	安政四丁巳年十一月廿三日	1857	11	23			豎帳	1				
18	301	一札	安政四年丁巳年十一月	1857	11		上金子村 名主 政右衛門		豎紙	1	九頭井大夫の持高証文。			
19	321	一札	安政五年戊午年十月	1858	10		上金子村 名主 政右衛門		豎紙	1	九頭井大夫の持高証文。	包紙あり。包紙上書「上 九頭井太夫」		
20	299	一札	安政六己未年十二月	1859	12		上金子村 名主 政右衛門		豎紙	1	九頭井大夫の持高証文。			
21	53	一札	文久元辛十一月	1861	11		上金子村 名主 政右衛門		豎紙	1	九頭井大夫の持高証文。		1	支配
22	37	書留覚	慶應二丙寅四月廿五日	1866	4	25			豎紙	1	包紙か。包紙上書に「田地證文并二添書在中」			
23	41	別紙添書	慶應二丙寅年十二月	1866	12		受人 茅野口作 本人 與兵衛	矢嶋蔵人殿	継紙	1	年賦勘定書か			
24	88	3 [耕地絵図]	慶応三丁卯年三月廿三日	1867	3	23			継紙	1				
25	62	今般御田地其外屋敷所持之山畑共二書上写	寅十月十八日(近世)	1868	10	18			折紙	1		63・64 と同じ包紙にあり。包紙上書「高調之覚 與右衛門分 古川通り一反老畝式歩 寅十月十八日」		
26	109	年婦米調	[年未詳] 十月十八日	1868	10	18			折紙	1				
27	148	知行割渡帖	明治元戊申年十二月	1868	12		小別當外記太夫 茅野水眼		横帳	1				
28	160	知行割渡帖	明治元戊申年十二月	1868	12		茅野光豊		小横帳	1				
29	64	[田地書上]	[近世]	1868					小切紙	1		62・63 と同じ包紙にあり。		
30	102	覚	[近世]	1868					折紙	1	金銭書上			
31	103	[金銭書上]	[近世]	1868					折紙	1				
32	110	3 知行米割方帳	明治元年戊辰年ヨリ并二明治十一年寅年十一月改等之事	1868			九頭井太夫 矢嶋信智		横帳	1		110 は綴り		
33	110	4 [神職石高書上]	[近世か]	1868					横帳	1		110 は綴り		
34	2	神楽役之者家禄仕訳書	明治四辛未年	1871					横帳	1				
35	63	[田地書上]	明治五壬申年九月十八日	1872	9	18			小切紙	1		62・64 と同じ包紙にあり。		



目録番号	史料番号	文書名	年月日	西暦	月	日	差出人・作成者	受取人	形態	数量	内容	備考	分類
36	144	一札	文政七甲申三月十五日	1824	3	15	矢嶋専之丞	前田弥左衛門殿	縦紙	1	矢嶋専之丞と主水が頼岳寺旦那であることの保証書。	包紙「上 九頭井太夫」	2
37	322	寺請一札	文政七甲申年三月十五日	1824	3	15	真言宗 佛法寺	前田弥左衛門殿	縦紙	1	増澤数馬・妻・父・同姓猪吉の寺請証文。		
38	323	一札	文政七甲申年三月十五日	1824	3	15	真言宗 佛法寺	前田弥左衛門殿	縦紙	1	増澤数馬・妻・父・同姓猪吉の寺請証文。	端裏書「古筆」「殿」の手習。	
39	348	寺請一札	文政七甲申年三月十五日	1824	3	15	曹洞宗 頼岳寺	前田弥左衛門殿	縦紙	1	矢嶋専之丞・同姓主水寺請証文。		
40	309	寺請一札	天保三壬辰年三月十五日	1832	3	15	曹洞宗 頼岳寺	山中三郎右衛門殿	縦紙	1	矢嶋専之丞・妻・同姓主水の寺請証文。	端裏書「伯父様口書」	
41	308	一札	天保五甲午年六月廿五日	1834	6	25	矢嶋専之丞	何村名主 何右衛門殿	切紙	1	宗門送り下書		
42	75	寺請一札	嘉永三庚戌年三月十五日	1850	3	15	曹洞宗 頼岳寺	志賀傳兵衛殿	縦紙	1	矢嶋主水等の宗門奉行へ提出した人別証明の写	端裏書「□□□ 土橋又兵衛様口書」	
43	76	一札	嘉永三庚戌年三月十五日	1850	3	15	矢嶋主水	志賀傳兵衛殿	縦紙	1	矢嶋主水等の宗門奉行へ提出した人別申請の案	端裏書「土橋又兵衛様口書」	
44	300	差出申一札之事	文久元辛酉年八月	1861	8		樋屋 善蔵	庄九郎殿	縦紙	1	とせ身代金井当人取替金請取書。		
45	33	人別請取一札	文久四甲子年正月	1864	1		内藤若狭守領分 伊奈郡小出村名主 五郎兵衛	諏訪郡上原村 名主 音五郎殿	縦紙	1	清右衛門跡式につき。雛形か。		
46	312	寺請手形之事	文久四甲子年三月十五日	1864	3	15	真言宗 佛法寺	石井隆右衛門	縦紙	1	増澤数馬・妻・祖母の寺請証文。		
47	330	1 一札	文久四甲子年三月十五日	1864	3	15	増澤数馬	石井隆右衛門	縦紙	1	増澤数馬・妻・母・祖母の寺請証文。	包紙あり。包紙上書「明治五壬申年戸籍雛形 矢島庫之控」	
48	331	寺請一札	元治元甲子三月十五日	1864	3	15	曹洞宗 頼岳寺	慶應二丙寅年 石井隆左衛門殿 元治二乙丑年 黒澤屋八郎殿	縦紙	1	矢嶋主水・妻・同姓蔵人・妻の寺請証文。		
49	306	一札	元治元甲子年六月	1864	6		受人 藤右衛門 同断 又右衛門 両角 繁弥 同断 幸右衛門 同断 孫兵衛 同断 平之丞 同断 □□□ 寺嶋善之丞 隣家 栄六 同断 藤兵衛	矢嶋吉蔵殿	縦紙	1	保太郎身元引受につき。	包紙上書「引受 一札」	
50	54	宗門送り一札	元治二乙丑年二月二日	1865	2	2	内藤若狭守領分 小出村 名主 五郎兵衛	諏訪因幡守様御領分 上原村 平四郎殿	縦紙	1	小出村梅右衛門悴 保太郎・神太、清右衛門養子につき。	包紙在り。55 も同じ包紙にあり。	
51	55	身元引受一札	元治二乙丑年	1865			信劔伊奈郡小出村保太郎一類惣代又左衛門 名主五郎兵衛	信州諏訪郡上原村御役人中様	縦紙	1	小出村梅右衛門悴 保太郎・神太、清右衛門養子につき。	包紙在り。54 も同じ包紙にあり。	
52	32	人受一札	慶應二丙寅歳三月十六日	1866	3	16	本人 鎌田高之進 受人 矢嶋蔵人	守屋要人	縦紙	1	松本龍田村鎌田高之進を引き受けたもの。	包紙	
53	77	一札	慶応三丁卯年三月十五日	1867	3	15	矢嶋主水	高橋左中殿	縦紙	1	矢嶋主水等の宗門奉行へ提出した人別申請の案		
54	78	一札	慶応三丁卯年三月十五日	1867	3	15	矢嶋主水	高橋左中殿	縦紙	1	矢嶋主水等の宗門奉行へ提出した人別申請の案		
55	290	一札	明治元戊申年三月十五日	1868	3	15	矢嶋文吾		縦紙	1	宗門一札	端裏書「明治五壬申七月二日被仰出二付三日書上寫シ」	
56	74	寺請一札	慶応四戊辰年四月十五日	1868	4	15	曹洞宗 頼岳寺	黒澤屋八郎殿	縦紙	1	矢嶋主水等の宗門奉行へ提出した人別証明の写		
57	307	一札	[近世]	1868			何村名主 何右衛門 同断 何兵衛	矢嶋専之丞殿	縦紙	1	宗門送り下書	「別札宗門送り下書」	
58	271	3 [諏方上下社調査御達書写]	庚午 [明治三年] 六月廿四日	1870	6	24	神祇官	諏方上下社神官	切紙の縦紙	1		271 は綴。	
59	123	2 人別送り一札	明治四辛未年八月日	1871	8		上宮 矢島主水	宮田渡村 名主 吉之丞殿 年寄 儀兵衛殿	小切紙	1	矢島主水悴 友吉を矢島常吉養子につき。		
60	123	3 引請一札之事	明治四年辛未八月日	1871	8		上原村 矢嶋主水 請人 上原外右衛門	宮田渡村 御役人衆中		1	矢島主水悴 友吉を矢島常吉養子につき。		
61	123	1 [包紙]	明治四辛未年	1871	9	10				1	「明治四辛未年九月十日二遣入、常右衛門持参致候、友吉宮田渡村名主吉之丞遺候下書共二在中 身許引請一札 人別送り一札」「金百疋御初穂」	初穂の包紙を書状包紙に転用か	
62	324	御奉公御請状之事	明治四辛未十月日	1871	10		諏訪郡上原村百姓楠屋 上原宇右衛門 同村請人 矢島吉蔵	甲府縣若尾治三郎様	縦紙	1	上原宇右衛門、甲府縣若尾治三郎に奉公につき。	包紙あり。	
63	313	[包紙か]					諏方上社旧神官 矢嶋氏			1	包紙上書「改名達書 諏方上社旧神官 矢嶋氏」「増澤真嘉喜 矢嶋岩太 矢嶋信 矢島庫」の名あり。		
64	289	一札	明治二己巳年二月廿八日	1869	2	28			縦紙	1	矢嶋右内家家族構成書上。		
65	317	一札	明治己巳(二年)年二月廿八日	1869	2	28			縦紙	1	矢嶋岩太家書上。		

1 宗門一札  
2 戸口

2 戸籍  
包紙

目録番号	史料番号	文書名	年月日	西暦	月	日	差出人・作成者	受取人	形態	数量	内容	備考	分類				
66	328	一札	明治四辛未年三月一日	1871	3	1			縦紙	1	葛井太夫 矢嶋千久真・矢島庫家族調書。		2	戸口	2	戸籍	
67	332	[矢島庫家族調書]	(明治四辛未年八月廿二日)	1871	8	22	[矢島庫]		縦紙	1		奥書に「笠井晴江殿囃形受取候」とあり。包紙上書に「當年從被仰出改ル明治四辛未年八月廿二日二着出ス寫」。					
68	327	[家族調書]	明治五壬辰年四月	1872	4				縦紙	1	矢島庫家族調書。						
69	255	1 [改名願書]	明治五壬申七月	1872	7		第九拾八區二百二十五番屋敷居住 諏方上社旧神官 矢嶋岩太	戸長 御中		1		255 は同じ紙に書かれている。					
70	255	2 [改名願書]	明治五壬申七月	1872	7		第九拾八區貳番屋敷居住 諏方上社旧神官 矢嶋光忠			1		255 は同じ紙に書かれている。					
71	329	[改名願書]	明治五壬辰年七月	1872	7		第九拾八區二百二十五番屋敷居住 矢嶋岩太	戸長御中	縦紙	1	矢嶋岩太通称から実名への変更願書。						
72	208	記	明治五壬申年八月	1872	8		第九拾八區二番屋敷居住 諏方上社旧神官 矢嶋光忠		縦紙	1	姓名呼称の届書写。						
73	209	記	明治五壬申年八月	1872	8		第九拾八區百七番屋敷居住 諏方上社旧神官 矢島信智		縦紙	1	姓名呼称の届書写。						
74	326	記	明治五壬申年八月	1872	8		諏方上社旧神官 増澤清忠		縦紙	1	呼称変更届。						
75	325	[改名願書]	壬辰(明治五年)月	1872			第九十八區□□屋敷居住 諏方上社旧神官 矢嶋岩太	戸長御中	赤罫紙	1	通称から実名への願書。						
76	330	2 [九頭井太夫家家族調書下書]	[明治5年]	1872					小切紙	1	矢島庫家族書上。	330-1 の包紙にあり。					
77	330	3 [矢嶋信家家族調書下書]	[明治5年]	1872					小切紙	1	矢嶋信家家族書上。	330-1 の包紙にあり。					
78	115	覚	辰七月 [慶應4年]	1872	7		沢や 定右衛門	矢嶋様	小切紙	1	請求書兼領収書	領収文言は後筆、領収日は「八月二日」					
79	275	定	弘化五申年三月	1848	3		菊一文珠藤原金重			1	刀一腰の売渡状。						
80	120	一札	嘉永五壬子年十二月	1852	12		横内村本人 矢崎右京 上金子村受人 吉弥	小池権蔵殿	縦紙の継紙	1	矢崎右京金五兩借用証文	茅野式部の奥書あり。					
81	65	覚	卯三月二日 [近世か]	1868	3	2	丸屋 庄兵衛		切紙	1	領収書か。	66・67・68 と同じ包紙にあり。包紙上書「証文一札」「古川清左衛門貸借関係返済二付受取候証書覚」					
82	93	増沢氏借金始末方覚	明治三庚午年正月廿一日	1870	1	21			横帳	1							
83	66	覚						古河清左衛門	切紙	1	領収書か。	65・67・68 と同じ包紙にあり。					
84	104	1 記					横内村 徳弥	上原村 新之助様	折紙	1	利息返済分書上	104 は綴り、2 と同一紙					
85	104	2 記					横内村 又兵衛		折紙	1	利息返済分書上	104 は綴り、1 と同一紙					
86	104	3 [覚]							折紙	1	貸借金と利息を書き上げたもの。	104 は綴り					
87	116	[包紙]								1	上書「御拝借証文 普門寺村 増沢数馬死去二付 御宮江歎願書写し」						
88	132	賣渡し申田地手形之事	文政九丙戌年三月日	1826	3		上原村 本人 友右衛門 小町屋村 請人 勇蔵	當村ノ仙之助殿	縦紙	1		上金子村村役人の裏書きあり。					
89	47	売渡申田地手形之事	慶応二甲寅年四月	1866	4		加藤芳右衛門 加藤岡助	矢嶋蔵人殿	縦紙	1		裏書きあり。37 の中味。					
90	122	添証文之事	慶応二丙寅年四月	1866	4		本人 加藤芳右衛門 請人 加藤岡助	矢嶋蔵人殿	縦紙	1	加藤芳右衛門等買地につき。						
91	38	田地証文為取替手形之事	慶應二乙卯年十一月廿九日	1866	11	29	受人 矢崎右内 本人 矢嶋蔵人	茅野與兵衛殿	縦紙	1	雛形か。						
92	72	田地証文為取替手形之事下書	慶應二己卯十一月廿九日	1866	11	29			切紙の継紙	1							
93	80	田地証文為取替手形之事下書	慶應二丙寅年十一月	1866	11		請人 茅野濤作 本人 同與兵衛	矢嶋蔵人殿	継紙	1	茅野與兵衛田地賣渡につき	継紙継目印・裏書に売買する田地の書上あり					
94	67	覚	戊四月十八日 [近世]	1868	4	18	古川清左衛門	矢嶋主水	切紙	1	領収書か。	65・66・68 と同じ包紙にあり。					
95	36	譲渡申田地之事	[近世]	1868					縦紙	1	雛形か。						
96	297	売渡し申地所手形之事担也	明治三庚午年四月	1870	4		本人 矢嶋庫之助 證人 房八	差引番 名主 又五郎殿	縦紙	1							
97	124	奉拝借証文之事	明治三庚午年五月	1870	5		本人 矢島庫之輔 受人 矢嶋信造	御社 御執事申	縦紙	1	祖母并数馬死去につき金三兩借用証文。						
98	131	奉拝借証文之事	明治三庚午五月	1870	5		矢嶋庫之輔 矢嶋信造	御社 御執事様	縦紙	1	祖母并数馬死去につき金三兩借用証文。	124 と同内容					
99	49	奉拝借証文之事							半切の継紙	1	祖母并数馬死去につき三兩拝借。	「神長官之下書」とあり。					
100	27	[小江川の掘出人名面帳]	[近世] 七月	1868	7				横帳	1			4	水利・土木	1	普請	

目録番号	史料番号	文書名	年月日	西暦	月	日	差出人・作成者	受取人	形態	数量	内容	備考	分類				
101	89	御觸書之寫	壬申〔明治五年〕四月廿七日	1872	4	27	筑摩縣廳 村役人	加藤芳人 土橋喜久や 金井弥三 濱善蔵 飯田勇助 頼岳寺納所 極楽寺同断 矢嶋庫 矢嶋信	半切の 継紙	1	縣学松本へ開校につき、入学者募集の通知		5	教育	1	教育	
102	175	〔年代記〕							巻物	1	戦国時代から江戸時代後期までの諏訪と高島藩の歴史を簡略に記したものの。		6	記録	1	由緒	
103	523	〔年代記〕							折本	1	戦国時代から江戸時代後期までの諏訪と高島藩の歴史を簡略に記したものの。	175と同一文書。表紙に板が貼られている。	5	記録	1	由緒	
104	264	金森一件申渡書付	宝曆八年寅十二月廿五日	1758	12	25			豎帳	1							
105	113	〔加州様御公儀様江申上之写〕	〔近世〕	1868					横切紙の 継紙 (前欠)	1	五兵衛調につき。				2	訴訟	
106	30	2 水戸屯集浪士和田峠之一戦之扣	子十一月〔元治元年〕	1864	11					1		30は綴り					
107	258	〔水戸浪士大田御陣屋江之文通二御座候写〕	子十一月〔元治元年〕	1864	11		安藤伊賀守内安藤彦之進	大田御陣屋 御代官高田意六様	豎紙の 継紙	1		奥書に「丑三月十五日写之也」とあり。					
108	96	2 慶応二丙寅年八月木曾路松本御預り御領分打こわし之写し	慶応二丙寅年八月廿二日写	1866	8	22			折紙	1		96は綴り・濱氏が写した					
109	96	1 八月八日大目付中様御達し書付写し	慶應二年丙寅八月(原本)	1866	8		松平右京亮	甲府御城代	折紙	1	防長征伐につき。	96は綴り					
110	43	〔御觸書写〕	慶応四年正月	1868	1		神祇道本所 吉田殿 大取締役所	信州諸社家中	豎(も 継紙 紙か)	2	鎮撫軍発向のための協力要請。		6	記録			
111	45	1 〔御触書〕	戊辰正月	1868	1		東山道鎮撫総督 同副総督		豎紙	1	東山道諸藩主帰順勧告。	45は綴り。			3	幕末 維新	
112	45	2 〔御触書〕	戊辰正月	1868	1		東山道鎮撫総督執事	東山道諸国宿々村々御役人中	豎紙	1	偽官軍取締につき。	45は綴り。					
113	30	1 慶応四戊辰二月日 官軍徳川せいばつ并諸国鎮撫御勅使附御警衛大名衆御人数并奥州會津之仕未分日々聞書雑録 庭敵大名會酒井上秋仙台右二候	慶応四戊辰二月日	1868	2		信州諏方郡上原郷住人矢島信智		豎帳	1		30は綴り					
114	24	年代旧記諸雑録	慶応四戊辰八月	1868	8		上原郷矢島性		横帳	1	当時の諏訪の情勢が記されている。						
115	85	〔戯れ歌か〕	〔近世〕	1868					半切の 継紙	1	外国船来訪への幕府の対応を批判した戯れ歌						
116	263	御布告書寫	明治四辛未年九月	1871	9		諏訪上原村 矢嶋信智		豎帳	1							
117	107	〔書留〕	〔近世〕	1872					横帳	1	維新時の家族について書き留めたものの。						
118	358	歳号調寶記	嘉永四辛亥年九月吉祥日	1851	9				小帳	1	年号書留。最後尾に河合曾良についての書留。				4	その他	
119	153	3 〔御表衣祝由緒〕	〔近世〕	1872					切紙	1		153-1の包紙にあり。					
120	153	6 〔籙大夫由緒書〕	〔近世〕	1872						1		153-1の包紙にあり。					
121	158	3 〔籙大夫家系譜〕	〔近世〕	1872					切紙	1		158-1の包紙にあり。					
122	158	4 〔右近大夫家系圖〕	〔近世〕	1872					折紙	1		158-1の包紙にあり。					
123	158	5 〔右近大夫家系譜〕	〔近世〕	1872					折紙	1		158-1の包紙にあり。					
124	158	6 〔九頭井大夫・右近大夫系譜〕	〔近世〕	1872					切紙	1		158-1の包紙にあり。					
125	158	7 〔九頭井大夫家系譜〕	〔近世〕	1872					切紙	1		158-1の包紙にあり。					
126	86	〔覺〕	正徳五年乙未ノ六月廿一日	1715	6	21			半切の 継紙	1	大祝即位式につき書留	端裏書「六月三日□□殿江」	7	宗教	1	諏訪 上社	
127	288	乍恐以書附奉願上候	享和四子年二月五日	1804	2	5	信濃国一宮上諏方 九頭井大夫職 矢嶋千之丞 左近大夫職 矢嶋左源治	土橋主税殿	豎紙	1	風折烏帽子紗狩衣等免許願。	奥書あり。差出「信濃国一ノ宮諏方社 諏方大祝」受取「御本所様 御役人中様」					
128	411	〔神道大事写〕	文化九壬申二月	1812	2				巻物	1							
129	295	覺	安政三丙辰年正月	1856	1		増沢数馬 茅野左平太 矢嶋文吾 矢嶋右京 矢嶋主水 茅野但馬 茅野式部	新井村 田村覚左衛門	折紙	1	御湯神楽勤行料請取書。						
130	294	〔御湯神楽御初穂神納書〕	安政三丙辰年	1856			新井村 願主 田村覚左衛門		継紙	1		紙が外れている。					



目録番号	史料番号	文書名	年月日	西暦	月	日	差出人・作成者	受取人	形態	数量	内容	備考	分類							
131	18	甲州長前寺前 御支配之内村々 大々神楽二付名主世話人扣帳	安政六年未歳ヨリ申歳之三月迄申二月十七日	1859	2	17	諏方上原郷 中町 矢嶋蔵人信智		横帳	1										
132	91	添書	未七月(安政6年)	1859	7		郡中惣代 駒井村長兵衛 穴山村佐吉 浅尾新田政兵衛 下黒沢村関之丞 藤田村 銀兵衛 長坂□村仁兵衛 宮□村與兵衛	北組御村々御名主中様	継紙	1	甲斐国惣社八幡宮で諏方神社の太々神楽出張執行につき	包紙「添書 北組 郡中惣代」「東組西組添書式通 惣代名八別二御座候、安政六未年七月日 甲斐國甲府石田村 嶋田屋宇右衛門宅二而、矢島蔵人写之」								
133	92	宮奉行へ願入用并ニ甲州入用合・布半入用割	[未七月(安政6年)か]	1859					折紙	1	諸費用の金銭書上									
134	94	覚	[未七月(安政6年)か]	1859					折紙	2	金銭書上									
135	320	御託宣	[近世か] 正月二日	1868	1	2	願主 辰年男 卯年男 并家内安全		堅紙	1										
136	8	御城御初穂割覚帳	明治元年戊辰年十一月十八日	1868	11	18			横帳	1										
137	20	神楽書御託宣神子勤向	[近世]	1868			持主 矢嶋主水		堅帳	1										
138	98	覚	[近世]	1868					横切紙	1	収穫や太々神楽による収入を書き留めたもの。									
139	99	[金銭書上]	[近世]	1868					折紙	1	神事入用									
140	100	十五日覚	[近世]	1868					折紙	1	神事入用									
141	101	三口勘定覚	[近世]	1868					小切紙の継紙	1										
142	108	[金銭書上]	[近世]	1868					折紙	1	神事の時の差引簿									
143	17	諸入用日記覚帳	明治三庚午年正月十一日	1870	1	11			小横帳	1										
144	83	[依頼状]	[近世か] 八月廿日	1872	8	20	諏訪上社	茅野光應殿 矢嶋信友殿	堅紙	1	御射山の奏示、御震翰術護依頼。	朱印あり「諏方上社印」								
145	71	諏方宮撰社未社							切紙の継紙	1										
146	172	諏方上社物忌令					信劬上諏方九頭井之社人持主		折本	1										
147	439	[神道裁許状]	寛政十一年五月四日	1799	5	4	神祇管領長上正三位卜部朝臣良連	[信濃國上諏方神社神職増澤佐渡正藤原清方]	大高檀紙	1	風折烏帽子紗狩衣着用免許状。									
148	420	神楽秘文	文化元年五月廿八日	1804	5	28	神道管領		折紙	1										
149	429	六根清浄太極	文化元年五月廿八日	1804	5	28	神道管領		折紙	1										
150	430	六根清浄太極	文化元年五月廿八日	1804	5	28	神道管領		折紙	1										
151	440	[神道裁許状]	文化元年五月廿八日	1804	5	28	神祇管領長上正三位卜部朝臣良連	[信濃國一宮上諏訪社九頭井大夫矢嶋甲斐藤原正房]	大高檀紙	1	風折烏帽子紗狩衣着用免許状。									
152	293	奉差上御請書一札	文化二乙丑年二月	1805	2		九頭井大夫職 仙之丞	宮田渡御屋鋪様 土橋主税殿	継紙	1	風折烏帽子紗狩衣継目御許状願。									
153	283	規定書	文化六己巳年六月	1809	6		[矢島甲斐正]	御本所様御役人中	堅帳	1										
154	70	2 一札	文政七甲申十二月三日・四日	1824	12	4	六人連名	茅野式部殿	継紙	1	初尾につき。	70-1・2は貼り付けてある。								
155	42	奉願上候口上	天保七丙申年十月廿三日	1836	10	23	矢嶋専之丞	土橋東馬殿	堅紙	1	矢嶋専之丞病のため梓主水家督相続につき。	同日・同人宛で茅野織部の奥書あり。								
156	413	[神道裁許状]	嘉永元年三月廿四日	1848	3	24	神祇管領長上従二位卜部朝臣良連	[信濃國一之宮諏方本宮九頭井大夫矢嶋甲斐藤原信房]	大高檀紙	1	風折烏帽子紗狩衣着用免許状。									
157	40	乍恐願上口上書	文久元年辛酉霜月	1861	11		真柿大夫・左源大夫・左近大夫・右近大夫・九頭井大夫	土橋東馬殿	堅紙	1	大宮・御城・御屋敷様御初穂につき。	包紙あり。								
158	73	吉田殿与里御献書写	慶應三丁卯年九月	1867	9		[吉田家]		折紙	1	新に神祇執行につき。									
159	302	口上覚	[年未詳] 七月晦日	1868	7	30	茅野式部	土橋東馬殿	堅紙	1	吉田家伝授神道を用いていないという宣誓書。									
160	70	1 奉願口上覚	[近世]	1868			五人連名		継紙	1	初尾につき。	70-1・2は貼り付けてある。包紙あり。「百姓町人ニ至迄神葬祭願上一札之写シ」								
161	137	9 巳年御初穂覚	[近世]	1868					折紙	1										
162	252	矢嶋市右衛門□奉所持品物覚	[近世]	1868						1		赤罫紙								
163	19	御城御初穂并諸勘定覚	明治二年正月吉日	1869	1		矢島氏		横帳	1										
164	298	乍恐以書附奉願上候	明治二巳年六月	1869	6		右村願人 前之通(筑摩郡小野村利兵衛 ほか)		切紙	1	神葬祭願書。									
165	3	御衣表太夫檀中勸場控	明治四未年改正月吉日	1871	1		葛井大夫 矢嶋信智		横帳	1										
166	15	籬太夫檀中後見二付勸向帳	明治五閏申年正月	1872	1				横帳	1										
167	314	口上書	申七月五日	1872	7	5	諏訪上原村上社旧神官 矢島信智		堅紙	1	矢島信智家系口上。	端裏書「矢島信智」								
168	315	口上書	申七月五日	1872	7	5	諏訪郡上桑原村上社旧神官 増澤清只		堅紙	1	増澤清只家系口上。	端裏書「増澤清只」								

神事

7 宗教 1 諏訪上社

神職

目録番号	史料番号	文書名	年月日	西暦	月	日	差出人・作成者	受取人	形態	数量	内容	備考	分類				
169	316	口上書	申七月五日	1872	7	5	諏訪上原村上社旧神官 矢崎光忠		縦紙	1	矢崎光忠家系口上。	端裏書「矢崎光忠」	7	宗教	1	諏訪上社	訴訟
170	254	乍恐奉願上候口上之覺	明和七庚寅年八月	1770	8	庄九郎	土橋多門殿	縦紙の継紙	1	下桑原は庄九郎の檀中だったが、喪中により神事を外記太夫に依頼したところ、その後下桑原の神事に庄九郎が呼ばれなくなったことに関する願書。							
171	155	乍恐以口上書奉願上候御事	明和八辛卯十二月日	1771	12	九頭井太夫 右近太夫 戌平	土橋多門殿	継紙	1	神前湯立出人の儀につき。							
172	29	乍恐以口上書願上候	安永四乙未三月日	1775	3	九頭井太夫・右近太夫・戌平	土橋多門殿	継紙	1	神前湯立出人之義につき。							
173	31	乍恐以口上書奉願上候御事	安永四乙未四月日	1775	4	九頭井太夫・左近太夫・右近太夫・采女太夫	土橋多門殿	縦紙	1	戌平の儀につき。							
174	435	乍恐以口上書奉願上候	安永四乙未年六月	1775	6	九頭井太夫	土橋多門殿	縦紙	1	上中九頭井太夫檀中につき。							
175	257	御尋二付申上候口上書	寛政三辛亥十二月日	1791	12	真柿太夫 左近太夫 左源太夫 右近太夫 源太夫 九頭井太夫	土橋内蔵太	縦紙の継紙	1	式部返答書の儀に付。							
176	259	御尋二付口上書	寛政四壬子年五月晦日	1792	5	30 上原村九頭井太夫方 九兵衛 子 専之助	郡御奉行所様	縦紙の継紙	1		去年八月大風により九頭井社樁三本抜け、四本寝返りにつき。						
177	176	[太夫給分渡不足之米・大豆書上]	巳(寛政九年か)六月	1797	6	外記太夫 式部 源太夫 但馬 九頭井太夫 仙之丞 右近太夫 庄九郎 左近太夫 左源治 真柿太夫 新兵衛			1	安永2年(1773)から寛政8年(1796)までの、給付されなかった米・大豆の書上。177と同一文書。							
178	177	[太夫給分渡不足之米]	巳六月(寛政九年丁巳年七月十三日写)	1797	6	外記太夫 式部 源太夫 但馬 九頭井太夫 仙之丞 右近太夫 庄九郎 左近太夫 左源治 真柿太夫 新兵衛			1	439と同一文書。							
179	414	上社太夫共給分納方并割賦之覺	寛政九丁巳年六月日	1797	6	松元之助 郡奉行兼帯 竹雄右衛門 右同断 久平左衛門	外記太夫 本社末社 惣太夫 齋燈	縦紙	1		奥書に「巳七月十三日写シ置候」とあり。						
180	415	[上社太夫共給分納方并割賦之覺]	寛政九丁巳年六月日	1797	6	松元之助 郡奉行兼帯 竹雄右衛門 右同断 久平左衛門	外記太夫 本社末社 惣太夫 齋燈	縦紙	1		奥書に「巳七月十三日写シ置候 本書ハ小町屋ニ預ケ置候」とあり。						
181	438	[太夫給分渡不足之米]	巳六月(寛政九年丁巳年七月十三日写)	1797	6	外記太夫 式部 源太夫 但馬 九頭井太夫 仙之丞 右近太夫 庄九郎 左近太夫 左源治 真柿太夫 新兵衛			1	177と同一文書。							
182	35	乍恐奉願上口上書	文政十三庚寅年十二月十三日	1830	12	13 矢島専之助・矢ヶ崎庄九郎・矢嶋左源太・増沢数馬・茅野佐平太	土橋左膳殿	継紙	1	茅野芳之助につき。							
183	173	乍恐奉願上口上覚	[近世]	1868	3	2 九頭井太夫	土橋東馬殿	縦紙	1	九頭井太夫、源太夫とともに塚原村御頭勤めるにつき。143と同一文書。							
184	143	乍恐奉願上口上覚	[近世] 三月	1868	3	九頭井太夫	土橋東馬殿	継紙	1	九頭井太夫、源太夫とともに塚原村御頭勤めるにつき。173と同一文書。							
185	110	1 從神祇宣被 仰付十ヶ状書上之寫	明治三年九月日	1870	9		諏方上社	縦紙	1	諏方上社の古文書や系図などの写	110は綴り						
186	419	諏訪上社三十九社						継紙	1	上中下の十三所の書上と矢嶋氏の系図							
187	4	神屋見舞名面印帳	弘化二十月	1845	10		上場沢新田	横帳	1								
188	56	御参籠所江詰る事	[近世] 五月四日	1868	5	4		切紙	1	御宝蔵の宝剣盗難につき宿直書留。							
189	14	万代家職覚帳	寛政四壬子歳八月吉日	1792	8		神劔上諏方上原郷 持主矢嶋甲斐正藤原信正	横帳	1	寛政4年8月19日から嘉永8年11月4日までの、九頭井太夫周辺の記録。							
190	16	上京二付働化帳	弘化四丁未年十一月	1847	11		矢嶋主水	横帳	1								
191	5	日待檀中名面帳	嘉永五子年五月朔日	1852	5	1	矢嶋甲斐正	横帳	1								
192	11	日待檀中名面帳	嘉永五子年五月日	1852	5		甲斐正	横帳	1								
193	270	御城知行口 御神楽覚帳	安政五戊午年	1858			持主 矢嶋信房	横半帳	1								
194	156	小宮祭覚帳	萬延元庚申年十月日	1860	10		九頭井太夫	横帳	1								
195	305	覚	[近世] 四月六日	1868	4	6	小山慶弼	切紙	1	日待檀中より集金請書。	包紙上書「一札 小山田方請取」						
196	10	年書覚	[近世]	1868			持主 甲斐守	縦紙	1	檀家の干支を書き記したモノ。							
197	198	[由緒書]	明治二年己巳二月一日(原本)	1869				切紙	1	上原千鹿頭社・埴原田村千鹿頭社・御社宮司社の由緒書							
198	319	一札	明治三庚午年十一月	1870	11			継紙	1	塚原村鎮守社調書。							

目録番号	史料番号	文書名	年月日	西暦	月	日	差出人・作成者	受取人	形態	数量	内容	備考	分類				
199	46	誓廻詞	慶應四辰二月	1868	2		信濃国二ノ宮上伊那郡小野村矢彦大明神社役立澤右近守藤原宗徳	氣吹屋大人	竪紙	1	祝詞	下1/3を折り、2/3に字を書いている。	7	宗教	3	神社	幕末 維新 触書
200	51	1 神拝次第	[近世]	1868						1	白川殿神拝式	51は1枚の紙に書かれている。					
201	51	2 [雛形]	[近世]	1868				御本所役人中	折紙	1	請書の雛形	51は1枚の紙に書かれている。					
202	57	[附書]	[近世]	1868				北小路様・落合様・白井様	小切紙	1	廃仏につき。						
203	51	[達状]	[近世] 正月十四日	1868	1	14	山田佐源太昌俊 山田宰紀昌□	上伊奈諸社方中	折紙	1	吉田殿から請書提出命令。	51は1枚の紙に書かれている。					
204	170	[祭文例]	明治二年三月	1869	3		賀茂大神宮正四位賀茂経春		竪帳	1							
205	268	[日記]	[明治二年~六年]	1869			諏訪郡上原里 矢島庫之輔信智		帳面	1	明治二年から六年の布告や文書などの写。						
206	256	[布告写]	辛未十一月(明治四年)	1871	11		神祇官			1							
207	421	乍恐口上書〔 〕	宝永八卯二月廿六日	1711	2	26	訴訟人 大林宮内	寺社御奉行所	雑紙	1	美濃国本高ヶ沢、同碑畑山十二人式法違ひにつき。	写					
208	34	差上申御請一札書之事	明治二年六月	1869	6		石村頼人誰印	御役所	竪紙	1	筑摩郡北小野村某が神葬祭へ改めるにつき。雛形か。						
209	50	乍恐以書附奉願上候	明治二巳年六月	1869	6		石村頼人	(塩尻御役所)	竪紙	1	筑摩郡小野村利兵衛等神葬祭改につき。雛形。	奥書あり。					
210	39	乍恐以書附奉候	[近世]	1871			当国当郡小野村 矢彦社神取伊奈宮司	伊奈縣社寺御役所様	竪紙	1	除仏願。雛形か。						
211	6	諸事扣帳	天保七年三月吉日	1836	3		神劬上諏方上原郷 矢嶋氏		小横帳	1							
212	81	[包紙]							切紙	1		「京都吉田殿方之達し書在中」とあり、裏面に「のし」などあり					
213	22	天保四癸巳十一月日荒年二付□□并製法解毒法禁忌書写□郡中三千石御觸書写	天保四癸巳十一月日	1833	11		矢嶋信智写		竪帳	1							
214	59	方書	安政六年八月十九日	1859	8	19			折紙	1	薬の成分表。						
215	48	[薬の成分書留]	[近世]	1868			旅籠町君吉			1		「古城覚」とあり。					
216	207	[薬の広告か]	[近世]	1868			京當役上り町本家取込所 宮坂無午右衛門製 藤森治郎兵衛所役 宮坂弥右衛門古役 小和田所全出店 藤森弥兵衛全役 同又兵衛半役 同太兵衛先役 同平助跡役		竪紙	1							
217	60	増沢頼連薬	[近代]	1944			上中壺権現様近所 良左衛門		小切紙	1	薬の成分表。						
218	61	[金光丹の成分表]							小切紙	1	薬の成分表。	「宇津富五郎・上原平蔵」の名あり。					
219	69	[薬の成分表]							小切紙	1							
220	158	2 [徳川家臣旗本上原平蔵自筆家系調来]	安政四年三月	1857	3				切紙	1		158-1の包紙にあり。					
221	355	目録	元文元丙辰年八月	1736	8		九頭井大夫			1	武田信玄判物・朱印状の目録。						
222	434	目録	元文元丙辰年八月	1736	8		九頭井大夫		竪紙	1	武田信玄書状目録						
223	272	[袋]	明治五申年一月日	1872	1		矢嶋信智		袋	1	裏面に「表書ヨリ外学校用書モ在中」とあり。						
224	79	[包紙]							切紙	1		「別所寄通」とあり					
225	68	[断簡]	文政九丙戌年八月三日	1826	8	3	甲州内藤清右衛門 松木源重郎 横手彦左衛門		断簡	1		65・66・67と同じ包紙にあり。					
226	334	[金銭書上]								1	「一 貳分 酉分懸合也 勘之丞」						



3 近代

目録番号	史料番号	文書名	年月日	西暦	月	日	差出人・作成者	受取人	形態	数量	内容	備考	分類				
227	110	3 旧神官仲間一同之分 旧禄取調大蔵省江書上寫	明治八年亥年七月廿五日	1875	7	25			縦帳	1		赤罫紙、110は綴り。	1	旧禄取調			
228	1	組合十戸旧反別役場之調控	[近代]	1906			二十五口 矢島信智写		横帳	1							
229	97	[年貢高書上]	[近代]	1944					横帳	1		赤罫紙・「旧禄取調書」の裏面に書かれているので、旧禄を調査したのか。					
230	150	[葛井社敷地図]								1							
231	251	[旧禄取調二付覺]	[近代]	1878						1		両面に書かれている。					
232	174	神楽方旧禄取調上書記	明治十一年十一月三十日	1877	11	30	矢島信智		小豎帳	1		青罫紙					
233	249	旧禄取調書	[近代]	1878			筑摩縣管下信濃の國諏訪郡第拾五大區四小區宮川村三百六拾七番地住旧神官神樂役 諏方上社小別當外記大夫 茅野光豊 外六名			1		赤罫紙					
234	393	[家族調書]	[明治十三年十二月十八日]	1880	12	18	矢島信智	衛生委員 御中		1							
235	392	[略歴書]	[明治31年か]	1898			[矢嶋茂登]			1							
236	427	[家族書上]	[大正元年]	1912						1		425の包紙に入っている					
237	200	[覺]							豎紙	1	上社神官矢崎信家の家族構成等を書いたメモ書き。						
238	246	[下書]								1	戸籍調書の下書。	端裏書「戸籍調書出し下」					
239	248	明治十三年十二月廿日 書上寫 戸籍調 并二十戸所有地價覺	明治十三年十二月廿日	1880	12	20				1		赤罫紙・包紙か					
240	388	戸籍謄本	明治四拾五年四月拾九日	1912	4	19	長野縣諏訪郡永明村戸籍史代理 助役 加藤坂太			1							
241	221	婚姻届	大正四年拾月日	1915	10		小池満栄 らん 小池六平 寺島喜作	本郷村長	豎帳	1							
242	247	御請一札	明治七年八月廿九日	1873	8	29	一類 牛山権四郎 同 牛山佐平治 組合五長 宮坂善藏 同 矢嶋信智	戸長 濱泰通殿 副戸長 土橋新左衛門殿 同 寺嶋菊松殿		1	牛山知恵三郎・くま、宿下がりにつき。	赤罫紙					
243	253	記	明治八年十一月十七日	1875	11	17	筑摩縣参事 高木惟矩			1		職業調査通達。					
244	310	出寄留御届	明治十九年十二月九日	1886	12	9	右 矢嵩保男 山梨県北都留郡上野原村第百廿二番戸 家主 水越賈富	長野縣諏訪郡永明村 賀村 戸長役場御中	四	豎紙	1	矢嵩保男山梨県巡查奉職につき、上野原村寄留の届。		包紙あり。包紙上書「寄留書控」			
245	311	出寄留御届	明治十九年十二月九日	1886	12	9	右 矢嵩保男 山梨県北都留郡上野原村第百廿二番戸 家主 水越賈富	長野縣諏訪郡永明村 賀村 戸長役場御中	四	豎紙	1	矢嵩保男山梨県巡查奉職につき、上野原村寄留の届。		包紙あり。包紙上書「寄留書 保男」。外に矢崎つねの戸籍の写等あり。			
246	139	1 地券書上書控	明治七年十一月	1874	11				横帳	1		139は綴り。					
247	137	6 地券	明治十年二月八日	1876	2	8	長野縣	(持主 矢島信智)		1		墨書					
248	125	地價半格金受取証	明治十一年	1877			上原伍長惣代 土橋義郊 北原口之介 土橋喜代蔵	矢島信智殿		1							
249	137	5 地券	明治十六年一月八日	1883	1	8	長野縣	(持主 矢島信智)		1		印刷・一部墨書					
250	137	7 地券	明治十六年一月八日	1883	1	8	長野縣	(持主 土橋喜代蔵)		1		印刷・一部墨書					
251	137	2 地券	明治十九年六月一日	1886	6	1	長野縣 主事 諏訪郡長坂本俊秀	(持主 矢島信智)		1		印刷・一部墨書					
252	137	3 地券	明治十九年九月三日	1886	9	3	長野縣 主事 諏訪郡長坂本俊秀	(持主 矢島信智)		1		印刷・一部墨書					
253	137	8 地券	明治十九年九月三日	1886	9	3	長野縣 主事 諏訪郡長坂本俊秀	(持主 矢島信智)		1		印刷・一部墨書					
254	87	4 [地代書上か]	明治廿壹年一月廿日	1888	1	20			横帳	1		2枚4頁・87は綴り					
255	137	1 地券	明治廿二年三月三十日	1889	3	30	長野縣 主事 諏訪郡長島居義處	(持主 矢島信智)		1		印刷・一部墨書					
256	137	4 地券	明治廿二年三月三十日	1889	3	30	長野縣 主事 諏訪郡長島居義處	(持主 矢島信智)		1		印刷・一部墨書					
257	87	1 記	[年未詳] □十二月廿六日 [近代]	1944	12	16	岩井龜治郎	山割分 牛山佐平治様	半切の 継紙	1	請求書か報告書	87は綴り					
258	87	2 [覺]	[近代]	1944					切紙	1	金銭書上	87は綴り					
259	87	5 [地価書上]	[近代]	1944					切紙	1	地価書上	87は綴り					
260	106	[覺]	[近代か]	1944					横帳	1	地価書上						
261	128	所有地價銘々覺	[近代]	1944						1		赤罫紙					
262	216	[覺]	[近代]	1944					豎紙	1	土地書上						
263	13	小江川土手普請帳	明治八年四月十一日	1875	4	10			横帳	1		明治18年のもの綴られている。また、大ききの違う紙も綴られている。					
264	149	乍恐奉願上口上書之御事	明治八辛卯年	1875			上原村 九頭井		豎紙	1	小江川用水の本水を押し上げると、満水の時に葛井池が砂利で埋没してしまうため、古川へ水を通すようにという願書。		4	土木・水利	治水		

目録番号	史料番号	文書名	年月日	西暦	月	日	差出人・作成者	受取人	形態	数量	内容	備考	分類				
265	28	記	子六月ヨリ丑六月三十迄 〔近代 明治9年(1876) ~10年か〕	1876	6				横帳	1	下古川田丁反別并諸口勘定帳		1	政治・行政	4	土木・水利	治水
266	114	借用地証書之事	明治十年一月日	1877	1		本人 ーーー 受人 ーーー	佐平治殿	堅切紙	1	渋抜水道設置につき、田地借用願。						
267	90	記	明治九年子六月同丑六月三十日迄	1877	6	30			折紙	2	古川改修の人足の代金と古川治いの耕地の反別を書き上げたもの。						
268	26	出水二付小江川田丁出人控	明治十八年十月ヨリ	1885	10				横帳	1							
269	25	出入序分仕掛名面帳	明治十九年三月	1886	3				横帳	1							
270	223	金受取証	明治四十貳年一月一日	1909	1	1	集人 寺嶋楨右衛門	矢島茂登殿	切紙	1	上古川堤防工費の受取証か。						
271	237	〔感謝状〕	明治三十年六月一日	1897	6	1	長野縣知事正五位権藤貫一	諏訪郡永明村 矢嶋茂登		1	明治27・8年戦役の軍資金へ金参円献納したことに対する感謝状。						
272	345	〔礼状〕	明治三十九年七月十日	1906	7	10	諏訪郡神職協議所長正七位廣長本光	神職矢島信智		1	明治三十七・八年戦役の後援事業に尽力した事に対する礼状。						
273	179	承認状	明治二十七年十一月二十日	1894	11	20	陸軍恤兵監陸軍騎兵中佐正六位勲四等大蔵平三	矢島茂登殿		1	軍資金三円献納の納付書。						
274	139	2〔耕図と田畑書上〕	〔近代〕	1944					横帳	1		139は綴り。					
275	178	簡易便法農業錦庫	〔近代〕	1944						1			2	経済・産業	4	金融	無尽
276	245	定	明治七戌第六月	1873	6		諏訪郡 生糸製造人惣代 生糸改會社			1	製糸業工員の待遇などを定めたもの。						
277	121	無尽金備用証書	明治八年亥年十二月三日	1875	12	3	永明村上原耕地 土橋嘉左衛門 同請人 何々誰印	四賀村神戸耕地 茅野菅六発起無尽信明講世話人 溝口権之助殿 溝口俊三郎殿	縦紙	1		赤罫紙、端裏書「無尽証文書様之寫し」					
278	134	無尽金備用証書	明治八年亥年十二月三日	1875	12	3	永明村上原耕地 土橋嘉左衛門 何村何耕地 何ノ誰印	四賀村神戸耕地 茅野菅六殿発起無尽信明講世話人 溝口俊三郎殿 溝口権之助殿	縦紙	1		赤罫紙、端裏書「無尽証文書様之寫し」					
279	303	無尽講金借用書	明治十七年一月	1884	1		矢島信智	北原治之助殿 寺島伊三郎殿	縦紙	1							
280	184	恵美寿の講無尽出勤簿	明治三十年十月廿四日	1897	10	24	寺島口吉発起無尽 矢島茂登殿世話人		小横帳	1							
281	241	恵美寿の講無尽出金簿	明治三十年十月廿四日	1897	10	24	寺島口吉発起無尽 世話人	矢嶋保男殿	小横帳	1							
282	230	親友講無尽出金簿	明治三十一年四月十二日	1898	4	12	矢島孝八発起無尽 世話人	矢島茂登殿	小横帳	1							
283	242	福德講無盡掛金請取簿	明治参拾貳年拾月拾日	1899	10	10	發起人 上原長太	矢島茂登殿	小横帳	1							
284	185	無尽金出入覚	明治参拾五年十月廿五日	1902	10	25				1							
285	232	1 壬寅講無尽金受取記	明治三十五年十月	1902	10		土橋喜之輔発起無尽 世話人	矢島茂登殿	小横帳	1							
286	196	約定証	明治三十七年二月六日	1904	2	6	永明村上原区 金井常兵衛 せむ掛り 矢島茂登 土橋藤九郎 全村塚原区 上條七兵衛 矢嶋清五郎 せむ掛り 上條常治 土橋丑太郎		縦紙	1	永明寺村上原区寺島鶴吉発起の親友講無尽の会則。	赤罫紙					
287	240	請取証	明治三拾八年四月十三日	1905	4	13	永明村 寺島庫二郎	永明村 矢島茂登殿		1	無尽掛金請取証。						
288	222	記	明治三十八年拾月十二日	1905	10	12	金主扣番 矢島孝八	矢島茂登殿	切紙	1	矢島孝八発起無尽第十六回集会金の受取証。						
289	227	開運講無尽出金請取記	〔明治三十八年か〕	1905			竹田初右衛門発起無尽 世話人 田中勝治郎 寺島徳右衛門 寺島市治郎 土橋龜治郎	矢島茂登殿	折紙(用紙が大きい)	1	明治廿九年~卅八年まで						
290	157	年賦借還人名簿	明治卅九年第拾月拾五日	1906	10	15	會主 矢島茂登		横帳	1							
291	201	仁義講無尽金借用証	明治参拾九年十月廿五日	1906	10	25	永明村八百式拾七番地 矢島茂登	仁義講無尽神戸飯島新井上諏訪部世話人 神沢熊次郎殿 茅野濤作殿	縦紙	1		赤罫紙					
292	233	仁義講無尽掛金帳	明治卅九年第十月廿五日	1906	10	25	會主 矢嶋茂登		横帳	1							
293	244	無尽帳	〔明治四拾年〕	1907			矢島茂登	矢島茂登殿	縦紙	1							
294	228	受取証	明治四十一年十一月六日	1908	11	6	世話人 田中勝次郎 両角修助	矢島茂登殿	切紙	1	柿沢七兵衛発起無尽開運講第十四回出金の受取証。						
295	236	覚	明治四拾貳年第二月十八日	1909	2	18	土橋口治発起無尽世話人 北原種蔵 藤森喬吉 寺島円吉	矢島茂登殿	小横帳	1	興座講無尽規則に関する覚。						
296	195	記	〔明治四十四年か〕	1911			田村勝治	矢嶋様	切紙	1	柳澤七兵衛発起無尽示談金の承諾書。						
297	202	請取証	〔年未詳〕十二月卅一日	1944	12	31	土橋藤九郎 柳澤平助	矢嶋茂様	切紙	1	無尽金の受取証						
298	232	2 記	〔近代〕	1944			上原区 土橋喜兵衛	上原区 矢嶋茂登殿	切紙	1	土橋喜兵衛発起無尽出金の領取書。	1の中に挟まる。					

目録番号	史料番号	文書名	年月日	西暦	月	日	差出人・作成者	受取人	形態	数量	内容	備考	分類					
299	199	受取証					岩井亀次郎無尽世話人 寺嶋市次郎 土橋亀治郎 土橋友作 岩井茂十	矢島茂登殿	折紙	1	無尽金の受取証		2	経済・産業	4	金融	無尽	
300	217	太福講無尽出金請取記					藤森勝太発起無尽世話人 飯田口正 遊座貞桓 大宮清治 柳澤平助 両角口治	矢嶋茂登殿	折紙	1		紙が大きい。						
301	238	キ								1	無尽に関する覚か。							
302	154	領収證	明治卅八年十一月廿五日	1905	11	25	横内區 上原區	矢島茂登殿		1	中央線ちの停車場通路開削費に一円を補助した事による領収書。		3	社会・労働	5	鉄道・運輸	鉄道	
303	58	[覚]	[近代]	1944					断簡	1	薬の成分表か。「甲府忍光寺村 安野東伯」などの名あり。							
304	385	[感謝状]	明治二十五年十月廿四日	1892	10	24	長野縣知事從四位勲三等浅田徳則	長野縣信濃國北安曇郡池田村寄留 矢嶋茂登		1	水害罹災救助金三円寄付金感謝状		社会・労働	2	救恤	寄付		
305	141	謝状	明治卅二年一月九日	1899	1	9	日本赤十字社	矢島茂登氏		1	日本赤十字社長野県諏訪郡委員部總會費の内へ金五拾銭寄贈につき感謝状。	封筒						
306	206	[感謝状]	明治四十一年二月一日	1908	2	1	宮城縣知事從四位勲二等龜井英三郎 福島縣知事正五位勲四等平岡定太郎 巖手縣知事正五位勲四等笠井信一	長野縣諏訪郡永明村 矢島さだ		1	明治38年巖手縣下凶作に窮民救恤として矢島さだが金拾銭寄附したことに対する礼状。	用紙は「巖手縣」のもの。						
307	296	無念之証	明治十年九月十五日	1877	9	15	荒川庄八	組合侶長 小池治郎吉殿 牛山知恵三郎殿	赤罝紙	1	荒川庄八金刀比羅祭礼で酒興の上、狂乱したため、祭酒の念書。		4	教育・文化	1	学校	施設	
308	229	領収證	明治卅二年十二月日	1899	12		諏訪音樂會講社本部	永明村 矢島茂登殿		1	諏訪音樂隊設置資金金壹圓の領収書。							
309	274	[学校敷地井二門標御達書]	[明治七年戊辰] 十月廿九日	1874	10	29	[筑摩県庁]			1	包紙あり。							
310	140	国語教育ニツイテ	昭和五年十二月八日	1930	12	8	葛井庵主人		縦帳	1		「長野縣諏訪郡玉川尋常高等小學校」の青罝紙、ホッチキス留め	4	教育・文化	1	学校	施設	
311	276	横内村生徒人員							縦紙	1								
312	277	横内村生徒人員録							縦紙	1								
313	278	[上原村生徒人員録]							縦紙	1								
314	279	[上原学校人員録]							縦紙	1		2枚に別れている。						
315	130	地所書入證	明治十四年四月日	1881	4		永明村 借主 矢島信智 請人 飯田俊蔵	上原学校 学務委員 御中	縦紙	1		青枠線、奥書「右村戸長代理 筆生 笠原助右衛門」						
316	127	地所書入證	明治十六年四月一日	1883	4	1	永明村 借主 矢島信智 請人 飯田俊蔵	上原学校御中	縦紙	1		奥書「右村戸長 笠原助右衛門」青枠線						
317	95	[上原学校下絵圖]	[近代]	1912					縦紙	1	上原学校の間取り図		5	宗教	1	神社	神事	
318	119	記	明治十二年三月	1879	3		宮坂庄右衛門	學校教員 遊座貞垣殿 執事 寺嶋伊三郎殿		1	宮坂はつ休学につき。	青罝紙						
319	52	辞職願	明治十三年八月	1880	8		諏訪郡永明村 上原学校学務委員 河西源兵衛		縦紙	1		赤罝紙。						
320	273	[上原学校世話人休職願]	[近代]	1912					赤罝紙の縦紙	1								
321	189	[葬列役割表]							半切の縦紙	1		学校教員や生徒とあるところから、学校関係者の葬儀か						
322	219	証	明治廿三年三月	1890	3		展覧会	矢島茂登殿		1	教育展覧会へ矢島茂登が金五拾銭を寄附した事による領収書。							
323	21	祝詞正訓一卷	明治六癸酉年一月吉日写	1873	1		第九拾八區諏訪郡上原村九拾七番屋敷居住諏訪上ノ社旧神官 矢嶋氏		縦帳	1			5	宗教	1	神社	神事	
324	341	修了證書	明治三十五年四月二十七日	1902	4	27	諏訪郡職職會議所長山中助蔵	矢島信智		1	祭式一致講習会修了証書。							
325	346	證	明治卅五年八月四日	1902	8	4	長野縣皇典講究分所	長野縣平民 矢嶋信智		1	祭式講習会修業証書。							
326	347	修業證	明治三拾五年十一月廿七日	1902	11	27	長野縣神職會議所長関清英	矢島信智		1	祭式・祝詞・公文修業証。							
327	167	證	大正九年九月十三日	1920	9	13	長野縣皇典講究分所長正四位勲二等赤星典太	矢島茂		1	神社祭式并祝詞作文の修了証。							
328	142	靈祭祝辭	[昭和六年十月四日]	1931	10	4				1	祖靈祭の祝詞か	冒頭の方で紙が破れている。						
329	416	[御靈祭詞]	昭和六年十月十八日	1931	10	18				1								
330	442	[祝詞]								1								
331	265	[九頭井社絵圖]	[明治十五年か]	1882			[矢嶋信智]		縦紙	1	長野県の明治十五年調査により、税金上納となったため、敷地を改正した図。	色付						人事



目録 番号	史料 番号	文書名	年月日	西暦	月	日	差出人・作成者	受取人	形態	数量	内容	備考	分類				
332	342	[辞令]	明治三十三年十二月十五日	1900	12	15	長野縣	矢島信智		1	葛井社社掌の辞令。		5	宗教	1	神社	人事
333	343	[辞令]	明治三十三年十二月十五日	1900	12	15	長野縣	長野縣諏訪郡永明村字九頭井村社葛井社々掌矢島信智		1	千鹿頭社社掌の辞令。						
334	344	[辞令]	明治三十三年十二月十五日	1900	12	15	長野縣	長野縣諏訪郡永明村字九頭井村社葛井社々掌矢島信智		1	八幡宮社掌の辞令。						
335	250	税任神官詞	明治参拾四年一月日	1901	1		岩波三代吉			1							
336	260	上社旧神官願調書 違新之節職分取調書願口メ込覺	[明治三十四年]	1901					綴	1	明治六年から三十四年迄の書類の覺。神社由緒などもあり。						
337	186	1 社掌推薦書	大正九年九月三十日	1920	9	30	右神社氏子総代 諏訪郡永明村一千三百八番 土橋今朝蔵 全千八百十七番地 飯田儀瓢 全百八十三番地 寺島常右衛門	長野縣知事赤星典太殿	縦紙	1	諏訪郡永明村村社 葛井神社の社掌 欠員のため、矢島茂を社掌に推薦したものの。	186は2を除いて綴り					
338	186	3 社掌給料届	大正九年九月三十日	1920	9	30	右神社氏子総代 諏訪郡永明村一千三百八番 土橋今朝蔵 全千八百十七番地 飯田儀瓢 全百八十三番地 寺島常右衛門	長野縣知事赤星典太殿	縦紙	1		186は2を除いて綴り					
339	186	4 資格証明書	大正九年九月三十日	1920	9	30	永明村長 土橋友作		縦紙	1		186は2を除いて綴り					
340	186	5 履歴書	大正九年九月三十日	1920	9	30	矢島茂		縦紙	1		186は2を除いて綴り					
341	186	6 [断簡]	大正九年九月三十日	1920	9	30			縦紙	1		186は2を除いて綴り。他に長野縣逡査の卒業証書、167の証明書、諏訪中学校修了書、小学校教員免許状の写あり。					
342	186	2 [証明書写]							縦紙	1	167と大正八年四月二十五日付の小学校教員免許状の写。	186の綴りに挟まっていたもの。					
343	168	領収證	明治卅一年二月	1898	2		官幣中社諏訪神社 社務所	永明村 矢島茂登殿		1	諏訪神社軍人紀念銅額及び額舎建設預金の領収証。						
344	159	講禄							縦帳	1	上社に関する文書の抜き書き。	赤罫紙・青罫紙が混在。					
345	282	[着座図]							断簡	1	官員と神官の着座位置と神事の手順。						
346	153	5 [明治六年内務省御調之節書上寫]	明治六年	1873					切紙	1	槻井泉神社、筑摩郡須々岐水神社の叙位年の調査書。	153-1の包紙にあり。					
347	153	2 縣廳江社地坪數書出シ寫	明治七年十一月廿三日	1874	11	23	矢島信智	永明村 御役所	縦紙	1		153-1の包紙にあり。					
348	7	槻井泉神御位年限其外神社調類書在ル	[近代]	1906			矢島信智			1		包紙。153-2～6の文書が入る。					
349	153	1 長野県信濃國諏訪郡永明村上原 矢島神社圖面	[近代]	1906			矢島信智			1	矢島神社の絵図						
350	267	領収證	明治四十二年十一月廿七日	1909	11	27	葛井神社々掌 茅野三郎 同氏子惣代 寺嶋玉蔵 寺嶋周吉 北原善太		縦紙	1	鉄鍬2個・石鍬5個の領収証。						
351	441	末年縣廳御改之節撰社末社坪數覺	[近代]	1944					横帳	1	上下桑原・上原・横内・塚原・矢ヶ崎・南大塩の撰社末社の不動産についての調査。						
352	12	御布造書留記	明治六歳三月一日	1873	3	1	拾人組判頭		横帳	1							
353	269	諸御布告書寫	[明治七年か]	1874					縦帳	1	幕末維新に出された布告の写。						
354	354	[布告写]							もと縦帳	6							
355	423	[辞令]	明治七年九月	1874	9		祭主大教正三条西季知	矢嶋信智		1	神風講社取締の辞令。						
356	266	筑摩縣江地券御調二付書上ノ節覺書	明治六癸酉年五月十三日	1873	5	13	矢嶋信智写		縦紙	1	頼岳禪寺境内地地図						
357	153	4 [小池満慶由緒]	[近代]	1944					切紙	1		153-1の包紙にあり。					
358	166	[横内吉右衛門家系図]	[近代]	1944					縦紙	1							
359	271	4 [矢島信智系譜覺]	[近代]	1944					切紙	1		271は綴り。					
360	291	[系譜下書]	[近代]	1944					縦紙	1							
361	318	[矢崎光忠家譜]	[近代]	1944					縦紙	1							
362	362	矢島性家系	[近代]	1944					縦帳(赤罫紙)	1							
363	417	[矢嶋家系図]	[近代]	1944					黒罫紙	1		「教部省江書上ケ下タ」や「石明治三庚午八月廿七日高島江出 神祇官江書上書之写」とあり。					

目録番号	史料番号	文書名	年月日	西暦	月	日	差出人・作成者	受取人	形態	数量	内容	備考	分類				
364	437	[矢島家系図]	[近代]	1944					折紙	1		一部欠。	6	家	1	由緒	
365	378	證	明治十四年四月	1881	4		長野縣醫學校	矢嶋茂登		1	進級証						
366	389	[辞令]	明治十四年六月	1881	6		長野縣醫學校	矢嶋茂登		1	舎長の辞令						
367	379	證	明治十四年十月	1881	10		長野縣醫學校	矢嶋茂登		1	進級証						
368	375	證	明治十五年四月	1882	4		長野縣醫學校	矢嶋茂登		1	進級証						
369	381	證	明治十五年十月	1882	10		長野縣醫學校	矢嶋茂登		1	進級証						
370	376	證	明治十六年四月三十日	1883	4	30	長野縣醫學校	矢嶋茂登		1	進級証						
371	387	[長野縣医学校卒業証書]	明治十七年一月廿六日	1884	1	26	長野縣醫學校長肥田野畏三郎	矢嶋茂登		1							
372	391	[卒業試験成績表]	明治十七年一月	1884	1		長野縣醫學校		赤罨紙	1							
373	390	[俸金支給書]	明治十七年十二月廿七日	1884	12	27	北安曇郡役所	公立大町分病院々長 矢嶋茂登		1							
374	183	[慰勞金贈与状]	明治十九年八月十四日	1886	8	14	北安曇郡役所	矢島茂登		1	公立大町分病院長在職中、勉勵につき、慰勞として金 25 円贈与の状。						
375	23	葬式入費簿	明治廿年一月廿八日	1887	1	28	矢嶋氏		小横帳	1							
376	386	[辞令]	明治廿二年三月十四日	1889	12	14	長野縣	矢嶋茂登		1	北安曇郡医の辞令						
377	384	[辞令]	明治廿四年九月八日	1891	9	8	長野縣	矢嶋茂登		1	北安曇郡医の辞令						
378	182	締盟状	明治廿七年八月三十一日	1894	8	31	日本赤十字社總裁 大勲位彰仁親王 日本赤十字社長 正三位勲一等子 爵 佐野常民	矢島茂登氏		1	矢島茂登氏を日本赤十字社の正社員とする締盟状。	封筒あり。					
379	382	[辞令]	明治廿八年二月一日	1895	2	1	長野縣	矢嶋茂登		1	諏訪郡医の辞令						
380	377	[囑託書] 明治三十一年十月廿九日	明治三十一年十月廿九日	1898	10	29	長野縣	矢嶋茂登		1	永明尋常小学校医の囑託書						
381	271	1 [矢島信智履歴書下書]	[近代]	1906			矢島信智		切紙の 継紙	1		271 は綴。					
382	271	2 履歴書	[近代]	1906			矢島信智		縦紙	1		271 は綴。					
383	271	5 履歴書	[近代]	1906			矢島信智		縦紙	1		271 は綴。					
384	383	囑託書	明治四十四年一月二拾五日	1911	1	25	諏訪郡四賀村長矢崎末吉	矢嶋茂登		1	諏訪郡四賀村隔離舎担当医の囑託書						
385	380	修了證書	大正貳年三月廿六日	1913	3	26	長野縣師範學校長從六位勲六頭星菊太	矢嶋信孝		1	尋常小学校准教員学科講習修了証書						
386	400	[推薦状か]	[近代]	1944						1	「正風中洲支會幹事當選御承諾被下度候 矢島閑柳君」						
387	235	祭詞	大正二年十二月十七日	1913	12	17	松濤會		縦紙	1	故矢島國手への弔辞。						
388	395	[弔辞]	大正二年十二月十七日	1913	12	17	諏訪郡醫師會			1	矢嶋茂登君弔辞						
389	152	靈祭之許刀波	[近代]	1944						1	矢島美禰子死去につき、靈祭の詞。						
390	180	弔詞								1	包紙						
391	181	靈祭乃理刀								1	包紙						
392	146	誄辭	明治三十九年七月十二日	1906	7	12			継紙	1	矢島信智死去の誄辭						
393	145	雜事覺書	[明治 34 年か]	1901			矢島信智		小横帳	1							
394	422	[書簡下書]	[近代]	1911					折紙	1							
395	446	[書簡]	[年未詳] 七月 [昭和 40 年頃か]	1965	7		先生		便箋	1	「長野縣諏訪郡北山村蓼科温泉大プール 高原ホテル」の印あり。						
396	431	[書簡]	昭和四十年八月十日	1965	8	10	細川隼人	矢島こちょう殿	便箋	4	武田信玄書状につき。						
397	444	[書簡]	[年未詳] 八月十日 [昭和 40 年頃か]	1965	8	10	今井野菊	矢島様	便箋	1	「株式会社 地紙商店」の便箋。						
398	234	印鑑證明願	大正五年七月卅一日	1916	7	31	矢島茂	諏訪郡永明村長柿澤鶴之助殿 代理 柳澤市之丞		1							
399	112	[書簡か]							継紙 (後欠)	1	和歌などが書かれている						
400	433	諏訪史料 古文書展覽會目録	大正十四年五月三十一日	1925	5	31	信濃教育會諏訪部會			1		印刷物					
401	117	[袋]								1	上書「証書在中」						
402	158	1 [包紙]							もと切紙	1		包紙上書「羽書類」。包紙は御表衣祝由緒書を包紙にしたもの。					
403	218	[包紙]					松濤會			1	235 の包紙	包紙上書「祭詞 松濤會」					
404	287	[袋か]								1	288 ~が入っている。	袋が壊れている。					
													7	その他	1	書簡	
															3	包紙	

目録番号	史料番号	文書名	年月日	西暦	月	日	差出人・作成者	受取人	形態	数量	内容	備考	分類					
405	425	[包紙]								1		426・427が入っている。	7	その他	3	包紙		
406	405	[短冊]								12							4	その他
407	432	[不明]						便箋		1								

#### 4 宗教具

目録番号	史料番号	文書名	年月日	西暦	月	日	差出人・作成者	受取人	形態	数量	内容	備考	分類				
408	412	笏								1		榎の木製。長さ36.4cm、幅6.2cm。昭和13年12月7日付東京朝日新聞に包まれている。	1	諏訪上社	1	神具	札
409	525	風折烏帽子								1							
410	356	[御札]	嘉永元年四月	1848	4		矢嶋甲斐			1	「五穀豊穡 諸災悉除 諏方宮御祈禱御祓 矢嶋甲斐」						
411	527	上社御祈禱守護／鹿食免 [版木]							版木	1		片面に上社御祈禱守護、反対の面に鹿食免が彫られている版木。					
412	528	諏方本宮 一千度御秘大麻／ 諏方上社五穀成就御守[版木]							版木	1		片面に諏方本宮御秘大麻、反対の面に諏方上社五穀成就御守が彫られている。					
413	281	[印影]								1	「諏方宮」の印影						
414	526	薙鎌							鉄製	1							
415	537	太鼓								1							
416	284	[御札写]								1							
417	286	1 [袋]	萬延元庚申年極月二日	1860	12	2	矢嶋氏持主			1	袋上書「切札并二内府守覚書」	286-2～27入					
418	286	2 [金銭書上]	[万延元年頃か]	1860					小切紙	1							
419	286	3 天御中主命感應祈攸	[万延元年頃か]	1860					小切紙	1							
420	286	4 諏方本宮 鹿食免	[万延元年頃か]	1860						4							
421	286	5 [切札]	[万延元年頃か]	1860						1	白紙						
422	286	6 [切札]	[万延元年頃か]	1860						1	「○」とあり						
423	286	7 [切札]	[万延元年頃か]	1860						1	「天」の字とマークあり。						
424	286	8 [切札]	[万延元年頃か]	1860						1	朱筆で「太玉命」						
425	286	9 [覚]	[万延元年頃か]	1860						1							
426	286	10 [覚]	[万延元年頃か]	1860						1	四季柱立につき。						
427	286	11 松尾唯之進時行	[万延元年頃か]	1860					断簡後欠・木版	1							
428	286	12 [棟上式供物覚]	[万延元年頃か]	1860					折紙	1							
429	286	13 天津祝詞太祝詞加持力	[万延元年頃か]	1860						1	内部に勧請書あり	包紙あり。					
430	286	14 天津祝詞太祝詞加持力	[万延元年頃か]	1860						1	勧請書貼付						
431	286	15 神變神通力 御守護	[万延元年頃か]	1860						1	内部に勧請書あり	包紙あり。					
432	286	16 [御札]	[万延元年頃か]	1860						1	謹請青帝青龍王神						
433	286	17 [御札]	[万延元年頃か]	1860						1	謹請黄帝黄龍王神						
434	286	18 [御札]	[万延元年頃か]	1860						1	謹請赤帝赤龍王神						
435	286	19 [御札]	[万延元年頃か]	1860						1	謹請天鈿女命						
436	286	20 [御札]	[万延元年頃か]	1860						1	謹請黒帝黒龍王神						
437	286	21 [御札]	[万延元年頃か]	1860						1	謹請白帝白龍王神						
438	286	22 [御札]	[万延元年頃か]	1860						1	謹請諏方南宮法性大明神 御射山大明神 前宮大明神御感應守護						
439	286	23 [御札]	[万延元年頃か]	1860						1	謹請大日本國中大小之神 祇三千一百三十二座 天神七代十一柱太神 地神五代五柱太神 感應守護						
440	286	24 [御札]	[万延元年頃か]	1860						1	謹請 建御名方命 大己貴命 素戔鳴尊 少彦名命 事代主命 天八降魂尊 天三降魂尊 天合魂尊 天八百日魂尊 天八十萬日魂尊 當所鎮守 謂泉塞大神 猿田彦太神 道反大神 産宮氏神 感應守護						
441	286	25 [御札]	[万延元年頃か]	1860						1	「大殿祭御祈禱豊饒萬代経営祈哲 手置帆負尊 建御名方命」家□木札棟札						



目録番号	史料番号	文書名	年月日	西暦	月	日	差出人・作成者	受取人	形態	数量	内容	備考	分類				
442	286	〔御札〕	[万延元年頃か]	1860						1	奉謹請豊磐脇命 櫛磐脇命 新家出入清浄攸		2	神事	2	棟上関係か	札
443	286	〔御札〕	[万延元年頃か]	1860						1	奉謹請豊磐脇命 櫛磐脇命 新家出入清浄攸						
444	335	〔切札〕								1	「謹請天太玉命」	286と関連か					
445	336	〔切札〕								1	「謹請太宮賣命」	286と関連か					
446	337	〔切札〕								1	「謹請天香語山命」	286と関連か					
447	338	〔御札〕								1	「諏方大明神 氏神産宮 虫損御祈禱 大祓 ○小児虫加持札」	286と関連か					
448	339	〔御札〕								1	「謹請豊磐脇命 櫛磐脇命 新門出入清浄」	286と関連か					
449	340	〔御札〕								1	「諏方南宮大明神 天地神八百萬神 安鎮祭御祈禱 當□平癒祈」	286と関連か					
450	468	〔袋〕								1		「關番附在中」とあり。	3	その他	包紙		
451	410	〔御正体御影〕							巻物	1	武州川口錫杖寺御正体御影						
452	485	万民八重垣守護尊神								軸装	1	刷物	3	神道	1	神像	絵画
453	486	〔壺祖神像〕					柳華堂主人謹書			軸装	1	刷物					
454	499	〔飯糰権現画像〕								軸装	1						
455	44	神道大工十八通大事印信許可	[近世か]	1868						半切の 縹紙	1		2	経文			
456	532	仏像								木像	1	大日如来座像	4	仏教	1	仏像	
457	533	仏像								木像	1	地藏菩薩座像					
458	534	厨子								木製	1						
459	553	仏像								木像	1						
460	280	〔天忍穂耳尊天津神・國津神〕								縦紙	1		2	その他			

## 5 文芸

目録番号	史料番号	文書名	年月日	西暦	月	日	差出人・作成者	受取人	形態	数量	内容	備考	分類		
461	513	八葉承	寛政四壬子年	1792			久保		縦帳・ 版本	1			1	文学	和歌・ 俳句・ 漢詩 謡曲
462	169	〔謡曲本か〕							豆本	1					
463	350	〔漢詩〕	安政五戊午春日	1858			文明散人健			1			2	漢詩	
464	351	〔漢詩〕					文明健			1					
465	407	〔漢詩〕					矢嶋雅□清原碧城居士修道			1					
466	408	〔漢詩〕	丁未睦月良日				芳石□史			1					
467	443	〔漢詩〕	丁巳詩曆大月				文明			1					
468	445	〔漢詩〕	乙卯元旦誌小月				文明			1					
469	463	〔漢詩か〕					芳想			1		墨書			
470	560	〔漢詩〕					□芳樵			1					
471	561	〔漢詩〕					□直			1					
472	138	九十九翁伊藤圭介先生家訓								1		「非賣品」とあり。			
473	262	〔写〕							縦帳	1	教育について	赤罨紙・青罨紙	3	和歌	
474	285	〔手習いカ〕					立澤清登持主		帳	1					
475	514	さ起たま	文政十季丁亥秋	1813					縦帳・ 版本	1					
476	162	發句抜集	明治廿八年五月	1895	5				小横帳	1					
477	163	明治集抜句 并 詠歌集抜書	明治二十八年十一月	1895	11				小横帳	1					
478	164	發句雑集	明治廿八年	1895			□池庵 閑柳		小縦帳	1					
479	161	発句雑誌	明治卅年七月	1897	7		矢島閑柳		小縦帳	1					
480	165	聞留雑誌	明治卅一年第一月より	1898	1		東京神田区仲猿楽町十五番地 大八洲 學校事務所		小縦帳	1	和歌に関する書留	裏表紙に「文典講義録 第七一號ノ次」とあり。			

目録番号	史料番号	文書名	年月日	西暦	月	日	差出人・作成者	受取人	形態	数量	内容	備考	分類	
481	510	明治三十二年第四集 六拾番歌合	明治32年	1899					縦帳	1			3	和歌
482	171	歌俳句雑誌集	明治三十三年二月廿八日	1900	2	28	矢嘉閑柳		小横帳	1				
483	403	[和歌]	[明治35年]	1904			七十五翁 信智			1	「寄松 みとり子の二葉の松といふよりは千代繰りかへす年のおたまき」			
484	404	[和歌]	[近代]	1906			信智			1	「樞甫大人の賀年 御千代と嘉添は類ひに敷ぬへし 君か齡ひの限りなき世を」			
485	482	[和歌]	[近代か現代]	1958			雪人		軸装	1				
486	147	[和歌集]							縦帳	1				
487	220	[和歌]					社司久保田元□		縦紙	1	社掌矢島大人幽冥にかむざりましを惜しみ御前に謹みて 社司久保田元□ 見るにつけ聞につけても忍ふかなどもに尽せしむかしおもへば」			
488	349	[和歌か]								1				
489	353	[和歌か]								1				
490	394	[和歌]					閑柳 [春秋安幹雄選佐山書]			1	年の立 花定まるや はつ□			
491	426	[和歌]					□□		短冊	1	「故矢島先生の霊前ニさゝくをしへ子の志たふ古ゝ路や 以かならん きくたにかなし 君のなさはは」	425の包紙に入っている		
492	447	明治天皇御製かるた								1		骨牌 198枚		
493	470	[和歌か]					菊代・一二三			1		包紙あり。印刷。470の袋にあり。		
494	471	[和歌]	丑のあき							1		印刷。470の袋にあり。		
495	512	宝の屋し満							縦帳・版本	1				
496	480	[俳句]	安政戊午季春	1858						1		包紙あり。包紙上書「句種井 信州 月廼屋江湖」包紙は本来この文書の包紙。470の袋にあり。	4	俳句
497	515	慈明集	明治三十一年十二月	1898	12		長野県信濃国諏訪郡原村百八十七番地 小池泉残		縦帳・版本	1				
498	516	冬□ら	明治三十一年十二月	1898	12		信濃の国諏訪郡玉川村四百三十八番地 牛山菱草 同村四百四十二番地 牛山明京		縦帳・版本	1				
499	469	[俳句]	明治三十年丁酉初春	1898			天龍湖			1		絵と俳句。470の袋にあり。		
500	190	[俳句]					凍湖		短冊	1	松か勢の奥に祭るや冬の山	包紙あり。紐で縛られている。包紙上書「捧吟 老章 松濤會員 竹田壘 病床中」		
501	191	[俳句]					一枝		短冊	1	矢嶋雅□の靈に供す 功積を慕ふて今日の積る雪	包紙あり。紐で縛られている。包紙上書「御霊前 北原一枝」		
502	192	[俳句]					素人		短冊	1	矢島夢中君借みて	包紙あり。紐で縛られている。包紙上書き「上素人」		
503	396	[俳句]					談人			1	「矢嶋氏の新婚を祝して 南天や 別野の垣の こまむすひ」			
504	397	[俳句]					閑柳			1	「嘉年 天地ともにわふせ千代見□」			
505	398	[俳句]					□			1	「城行や 妻のはたけの 桐の花」			
506	399	[俳句]					閑柳			1	「千代こめし 拝むや年の 初日の出」			
507	401	[俳句]					慶山			1	「みそきをぬ 人のこゝろの □哉」	裏書きあり。		
508	402	[俳句]					閑柳			1	「数の子や 筋りも □の形のまゝ」	裏書きあり。		
509	462	[俳句]					□□			1		墨書		
510	472	[俳句]	午の春							1		包紙あり。包紙上書。「把のし」印刷。475と同一文書。470の袋にあり。		
511	473	[俳句]	午の春							1		包紙あり。包紙上書。「把のし」印刷。474と同一文書。470の袋にあり。		
512	474	[俳句]	いのやよひ							2		包紙あり。包紙上書。「農寮閑」印刷。470の袋にあり。		
513	475	[俳句]	甲子春							2		包紙あり。包紙上書。「農寮閑」印刷。470の袋にあり。		
514	476	[俳句]	乙うしの□							1		包紙あり。包紙上書。「月よみ」印刷。470の袋にあり。		
515	477	[俳句]	午の春							1		包紙あり。印刷。479と同一文書。470の袋にあり。		
516	478	[俳句]	いのやよひ							1		包紙あり。印刷。470の袋にあり。		

目録番号	史料番号	文書名	年月日	西暦	月	日	差出人・作成者	受取人	形態	数量	内容	備考	分類
517	479	〔俳句〕	□□春							1		包紙あり。包紙上書「句種井 信州 月廻屋江湖」2の包紙にあり。470の袋にあり。	4 俳句
518	481	〔俳句〕	乙卯季秋				半野閑人筆			1		470の袋にあり。	
519	511	〔俳句集〕							縦帳	1			
520	517	花園					編輯 白菊社 信州諏訪郡玉川村菊沢 下諏訪竹内三吉板		縦帳・ 版本	1			
521	H 6 - 07	前々太平記 序目録壹～廿一	正徳五乙未歳九月十六日	1715	9	16	武陽書林 江戸日本橋通壹丁目 須原 茂兵衛 浪華書林 大阪北御堂前 毛 利田庄太郎板		和 本・ 印刷	20		「書林 上諏訪原町 升屋庄内」印あり。七・ 八巻は合本。	5 読本
522	H 6 - 09	信濃地名考 上・中・下巻	明治三十四年九月二十日	1901	9	20	故 吉澤好鎌 著／松陽堂 発行		和 本・ 印刷	3			
523	518	信州千人床 巻之壹							縦帳	1	二の丸騒動		
524	519	信州千人床 巻之貳							縦帳	1	二の丸騒動		
525	520	信州千人床 巻之三							縦帳	1	二の丸騒動		
526	521	信州千人床 巻之五							縦帳	1	二の丸騒動		
527	522	信州千人床 巻之六							縦帳	1	二の丸騒動		
528	H 6 - 04	太平記 巻之壹～四十一					文□堂		和 本・ 印刷	41		「書林 上諏訪原町 升屋庄内」印あり	
529	H 6 - 05	統太平記 巻之壹～三拾							和 本・ 印刷	30		「書林 上諏訪原町 升屋庄内」印あり	
530	H 6 - 06	前太平記 巻之壹～四十							和 本・ 印刷	40		「書林 上諏訪原町 升屋庄内」印あり	
531	H 6 - 10	真書太閤記 初篇四・五							縦 帳・ 墨書	2		「持主 上原安恒」とあり。	
532	487	〔書〕					〔東郷〕 平八郎書		軸装	1	印刷		6 書
533	495	〔書〕							軸装	1			
534	500	〔書〕					徹明翁書		軸装	1			
535	503	〔書〕					菱湖		軸装	1			
536	540	〔書〕					雪人			1	つと入や牛黄□□ 瓜は□け□実入や 同じ糸図のいさ平氏	軸装なし	
537	542	〔書〕					雪人		色紙	1	太平を さのひや 菊の国	「雪人八十三」とあり	
538	543	〔書画〕					雪人		色紙	1	菊咲て 病に起つ □□□	俳句と達磨図か	
539	544	〔書〕					雪人		色紙	1	梅に鶴 □手寒さ 知らぬ也	「雪人八十三」とあり	
540	545	〔書〕					雪人		色紙	1	古里や 別に春ある はゝの家		
541	508	〔山水図〕	明治九年丙子十有一月上 浣	1876	1		東肥左篁石		軸装	1			
542	456	大日本名将鑑 最明寺時頼入道	明治十一年十月十九日	1878	10	19	□雪 芳□ 画工 月岡米次郎 出版 人 船津忠次郎			1		絵	
543	188	海洋島沖海戦大将之圖	明治廿七年十月四日 印 刷 全月八日 出版	1894	10	4	東京日本橋區新右衛門町四番地 熊澤 喜太郎			1	錦絵		
544	453	英明武者鑑 西塔武蔵坊弁慶	明治廿七年三月	1894			南齋年忠 印刷兼発行者 小森次郎			1		絵	
545	451	新版角力尽し	〔近代〕	1912			茅為			1		絵	
546	452	高貴ノ上覧石橋ノ図	〔近代〕	1912						1		絵	
547	455	壽永二年木曾義仲平将知度 俱 利迦羅谷大合戦	〔近代〕	1912			一恵齋尊幾 画			2		絵 継ぎが外れている。	
548	457	東都 御殿山花見之圖	〔近代〕	1912			應雪豊國 画 地本問屋総州屋与兵衛 板			3		絵 継ぎが外れている。	
549	458	東京名所銀座繁栄之図	〔近代〕	1912			葛吉板			1		絵 継ぎが外れている。	
550	187	清國運送船沈没ノ圖	〔近代〕	1944						1	錦絵	半分欠	
551	352	〔絵〕					十二壺玉僊			1			
552	409	〔俳画〕					守屋□□拜写			1			
553	450	〔漢詩と絵〕								1			
554	454	徳川家十六善神肖像圖					辻文板 ホリ栄			2		絵 継ぎが外れている。	
555	459	〔俳画〕					其残			1		墨書	
556	460	〔富士山図〕					碧風			1		水墨画	
557	461	〔竹図〕					宣郷			1		墨書	
558	464	〔竹図〕					天然			1		墨書	
559	465	〔雀図〕					古丘煥			1		墨書・色つき	



目録番号	史料番号	文書名	年月日	西暦	月	日	差出人・作成者	受取人	形態	数量	内容	備考	分類
560	466	[葡萄図]								1		絵	7 絵画
561	467	[桜図]					花□女子			1		絵	
562	483	[梅と菊画]					海城□写主			1	漢詩と水墨画。		
563	484	[山水画]	丙辰仲秋				竹□□□			1			
564	488	[俳画]					雪散叟		軸装	1			
565	489	[梅図]								1			
566	490	[画像]								1	和歌と絵。		
567	491	[無図]					原□経書			1	蕪の絵と漢詩・俳句。		
568	492	[和歌と葡萄図]								1	和歌と葡萄図。	経木に紙の裏打ち。	
569	493	[山水画]					月僊		軸装	1			
570	494	[竈図]					源應學写		軸装	1			
571	496	[俳画]					漫々謹書 八十八翁雪江		軸装	1			
572	497	[画像]					鶴富老人		軸装	1	漢詩と絵。		
573	498	[山水図]	辛卯第一月						軸装	1			
574	501	[俳画]					和角画		軸装	1	梅図と俳句。		
575	502	[画像]					抱義		軸装	1	時鳥図と和歌。		
576	504	[画像]					柳雪筆		軸装	1			
577	505	[燕と菖蒲図]					春邦		軸装 絹本	1			
578	506	[五月節句絵]							軸装	1			
579	507	[虎図]					源應學			1		印刷	
580	509	[虎図]							軸装 絹本	1			
581	418	[達磨図]	丙寅八月〔昭和元年か〕	1926	8		鷺湖雪人齊写			1			
582	151	大関秀吉公様御葬式之節御供人数行列 附り 御葬式二付諸事之写	慶長戊戌（三）年八月十八日	1598			信陽鷺湖東 上原郷 虎口主 矢島信智（写）		横帳	1		「文久元甲西（1861）年十月十日」の写	8 歴史 収蔵
583	366	江都繪圖	寶曆十庚辰年月改	1760			筆備 原應子感圖 彫工 岡本源次郎			1		江戸日本橋通一丁目 出雲守和泉掾蔵板	9 地図
584	374	繁榮御江戸繪圖	安政四年丁巳改正	1857			東都書肆 日本橋通壹丁目 須原屋茂兵衛 同貳丁目 山城屋佐兵衛 浅草福井町 山崎屋清七 人形町 上州屋重蔵 芝神明前 岡田屋嘉七			1			
585	368	射號日本譯圖 第一	明治六年第一月	1873	1		石川縣學校板 大屋愷□著			1			
586	369	射號日本譯圖 第二	明治六年第一月	1873	1		石川縣學校板 大屋愷□著			1			
587	372	信濃明細全圖	明治十三年十月	1880			編輯人 丸山清俊 出版人 伊藤甲造 発兌人 岩下伴五朗			1			
588	363	江都繪圖								1			
589	364	大坂御城繪圖								1			
590	365	大坂大繪圖								1			
591	367	明治改正 中村氏 大日本與地全圖								1			
592	370	江戸御城繪圖								1			
593	371	[日本地図]					浪華 友鳴松旭圖 江戸書肆 日本橋元大工町 三河屋鉄五郎板			1		表紙欠。2枚に裂けている。	
594	373	[江戸城図]								1	「武蔵国豊島郡江戸ノ御城東京ト名カワルトキ春三日ノ間御城御ニワノハイケンイタサセソロ」とあり。		
595	541	[京都絵図]	[江戸時代か]							1		色刷り	10 図書
596	H6-08	諏訪史料叢書 卷一〜十七	大正十四年十二月五日〜昭和七年八月二十日	1925					和本・印刷	17			

## 6 その他

目録番号	史料番号	文書名	年月日	西暦	月	日	差出人・作成者	受取人	形態	数量	内容	備考	分類
597	530	羽織							布(錦)	1		内側に「庄九郎」と墨書あり。	1 装束
598	531	胸当							布	1		家紋「六文銭」	
599	535	陣笠							木製漆塗り	1		家紋「六文銭」	
600	554	陣笠							木製漆塗	1		家紋「不明」	
601	536	泥障							革製	1		木箱入	2 武具
602	549	鍔柄							武器	1	長さ 250cm	550 の柄	
603	550	鍔先					[無銘]		武器	1	長さ 40cm	549 の槍先。鞘あり。「銃砲刀剣類登録証」付	
604	551	火縄式鉄炮					江州国友住才次能當作(二百七十五)		武器	1	全長 116.7cm・銃身長 85.3cm・後継 1.3cm	「銃砲刀剣類登録証」付属	
605	552	刀					[無銘]		武器	1		「銃砲刀剣類登録証」付属	
606	562	茶壺	[16世紀後半]							1			
607	538	大型蛤刃磨製石斧	[弥生時代]						石器	1		1/3 で折れている・刃先	3 考古資料
608	539	大型蛤刃磨製石斧	[弥生時代]						石器	1		1/4 で折れている・刃先	
609	546	黒曜石石器	[縄文時代]						石器	47	石鏃・石匙・石錐・剥片など	木箱の中にある	
610	547	真岩石器							石器	2	石匙	木箱の中にある	
611	548	蠟石剥片か							石器	1		木箱の中にある	4 容器
612	449	双眼鏡		1889			LEMAIRE FABI PARIS			1		ケース付	
613	448	カメラ					OKAKO(岡田光学精機)			1		蛇腹式カメラ。ケース付。	
614	524	箱	明治五壬申年九月廿四日作之	1872	9	24	工 中河原村 波間周吉 持主 矢志麻宇じ		木製	1			
615	529	箱	明治廿一年	1888			北安曇郡於池田村求之 矢島茂登		木製	1			
616	555	状箱							木製	1		黒漆塗。菊・桐紋入。蓋あり。	
617	556	状箱							木製	1		朱塗。蓋あり。	
618	557	状箱							木製	1		蓋あり。	
619	558	状箱							木製	1		蓋なし。	
620	559	網代箱							竹製	1		外面紙貼り、黒漆。	